

きこえない・きこえにくい人／みえない・みえにくい人のための大学

国立大学法人

筑波技術大学

# 産業技術学部

2027



Tsukuba  
University of  
Technology

Faculty of  
Industrial Technology



聴覚障害者

・視覚障害者のための大学



# Faculty of Industrial Technology

## ごあいさつ

筑波技術大学産業技術学部は、きこえない・きこえにくい人のために設置された国立の高等教育機関です。専任教員の授業では、教員が手話や視覚表示を用いて学生と直接対話する、情報バリアのない双方向のコミュニケーション環境の整備に努めています。学生はその環境のもとで安心して学修に取り組み、専門知識や実践的な技術を着実に身に付けることができます。ここで培われる高度な専門性と課題解決力は、AIやDXが進展する現代社会において大きな強みとなります。企業や地域社会と連携したプロジェクト型の取組や社会貢献活動、異文化の人々との国際交流も活発であり、多様な人々と協働しながら実践力や提案力を磨くこともできます。こうした環境で学んだ卒業生は、各分野で着実に実績を重ね、社会から高い評価を受けています。

また、全国から集まった仲間と出会い、互いに理解し支え合いながら成長できることも大きな魅力です。日常の学びや学生生活の中で、仲間と自由に語り合い、意見を交わしながら考えを深めていくことができます。アルバイトやサークル活動を通して視野を広げ、自分らしく表現する力を伸ばすこともできます。2025年に開催されたデフリンピック東京大会で活躍した学生や卒業生も多く、その挑戦は多くの人に勇気を与えました。

大学のあるつくば市は、自然が豊かでありながら東京へのアクセスにも優れた研究学園都市で、「だれもが楽しく、暮らしやすいつくば市の実現」を目指すまちです。安心して学修や課外活動に打ち込み、モノづくりの力や新しいモノやコトを提案する力を伸ばし、社会で活躍したい、自分を表現したいという志をもつ皆様をお待ちしています。

国立大学法人 筑波技術大学  
産業技術学部 学部長  
井上 征矢

聴覚に障害のある学生が学ぶ

# 産業技術学部

## Contents

2	NTUT News	活躍する学生たち
4	Policies	産業技術学部3つのポリシー
6	Profession	産業情報学科 情報科学コース
8		産業情報学科 先端機械工学コース
10		産業情報学科 建築学コース
12		総合デザイン学科 クリエイティブデザイン学コース
14		産業情報学科/総合デザイン学科 支援技術学コース
16	Education	教職課程
18		教養教育系科目
20	Supports	充実した支援サービス ・障害者高等教育研究支援センター/障害者支援研究部【聴覚障害部門】
22	Sociality	国際交流
24		社会貢献
26	Campus Life	課外活動
28		施設・イベント
30		私の学生生活
32	Career	就職支援・進学
34		卒業生の進路
35		就職活動について
36		【卒業生インタビュー】私は現在…
38		入学に関するお知らせ
40		オープンキャンパス・授業見学会・交通案内

## 東京2025デフリンピックで 本学学生・卒業生が活躍しました

# 01

2025年11月15日～26日にかけて開催された東京2025デフリンピックにおいて、本学大学院技術科学研究科の沼倉昌明選手、沼倉千紘選手が、バドミントン混合団体にて金メダルを獲得しました。また、本学卒業生の杉本大地選手がサッカー男子で銀メダル、卒業生の岩淵亜依選手がサッカー女子で銀メダル、さらに、卒業生の橋本樹里選手がバスケットボール女子で金メダルを獲得しました。バスケットボール女子では、卒業生の緒方沙織さんもアシスタントコーチを務めました。惜しくもメダルに届かなかった選手の方々も、素晴らしい活躍でした。本学関係選手のメダル獲得は以下のとおりです。

蒲生 和麻 選手 (卒業生)	柔道男子-73kg級、柔道男子団体	銅メダル
星野 萌 選手 (産業技術学部)	テコンドームセ女子	銅メダル
沼倉 昌明 選手 (大学院技術科学研究科)	バドミントン混合団体	金メダル
沼倉 千紘 選手 (大学院技術科学研究科)	バドミントン混合団体	金メダル
橋本 樹里 選手 (卒業生)	バスケットボール女子	金メダル
岩淵 亜依 選手 (卒業生)	サッカー女子	銀メダル
杉本 大地 選手 (卒業生)	サッカー男子	銀メダル

また、デフリンピック開催に際し、本学は大会開催前から東京都スポーツ文化事業団（デフリンピック準備運営本部）と連携してきました。総合デザイン学科の学生（当時）がエンブレムをデザインした他、大会運営のサポートスタッフとして約100名の学生が参画、選手として学生・卒業生合計17名が出場、開閉会式では学生2名がパフォーマーとして会場を盛り上げました。

デフリンピックは日本で初めて開催されたこともあり、会場及びYoutubeでの配信も含めて、沢山の方々に応援いただきました。また、デフリンピックスクエアに設けた本学ブースも、沢山の皆様にお越しいただきました。



試合後の撮影に応じて下さった沼倉昌明選手と沼倉千紘選手



決勝戦後に撮影されたバスケットボール女子チーム

1	2	3	4
6	7	8	9

1. バレーの産業技術学部 大坪選手 / 2. ハンドボールの卒業生 加賀屋選手 / 3. ハンドボールの卒業生 翁選手 /
4. ハンドボールの産業技術学部 林選手 / 5. 射撃の卒業生 柳田選手 / 6. 陸上800mの産業技術学部 中村選手 / 7. 陸上十種競技の卒業生 岡部選手
8. 閉会式での本学関係者の集合写真 / 9. サポートスタッフの集合写真



## 国境を越えた仲間たちとの交流

# 03



学生による講義の様子、手話や点字の体験、TX車内での疑似体験の様子

## 本学学生がTX講座の講師を務めました

2026年2月14日(土)、つくばエクスプレス(以下、TX) 守谷駅および総合基地において、小学4年生から中学生を対象とした「学ぼう! TX講座~TXのユニバーサルデザイン~」を開催しました。

本講座は、TXを運営する首都圏新都市鉄道株式会社と本学の連携事業として実施しており、今回で4年目となります。当日は、同社社員および産業技術学部の学生が講師を務め、聴覚・視覚障害に配慮したユニバーサルデザインについて、講義や体験を通して学んでもらいました。

後半では、TX-3000系の貸切列車に乗り、車内での疑似体験やユニバーサルデザインを探す活動を行いました。参加した児童からは好意的な感想が寄せられ、本学学生にとっても、社会と関わりながら学びを实践する貴重な機会となりました。

# 02

本学の国際交流協定校であるデ・ラ・サール・カレッジ・オブ・セント・ベニルデは、フィリピンにあるろう者学を学べる私立大学であり、多くのろう難聴学生が学んでいます。2025年5月から7月、オンラインで双方の手話を教え合い、アクセシビリティや手話言語などに関する各国の現状について、プレゼン・意見交換をしました。本学は学科専攻を超えて18名の学生が集まりました。そのうち学部生の田中璃子さん、塚根みづなさん、坂本拓登さん、大学院生の川上慶悟さんは、翌年2月に現地を訪問し、さらなる見識・交流を深めました。オンライン交流や海外派遣研修は、国際的な視点から自らの学びや将来のキャリアを考える重要な機会となっています。



School of Deaf Education and Applied Studies (SDEAS) のろう・難聴学生との集合写真

## 第12回 茨城学生建築展で学生が 奨励賞を受賞

# 04



受賞作品と湯見武龍さん

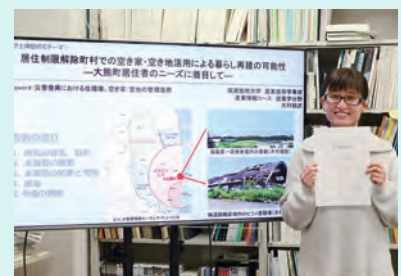
2026年2月19日に開催された茨城県建築士事務所協会主催の「第12回茨城学生建築展」の審査において、産業技術学部産業情報学科建築学コース3年の湯見武龍さんの作品「多世代に行き交わるイノベーションキャンパス」が奨励賞を受賞しました。茨城県内の建築関連科目を有する大学、専門学校等が参加するこの建築展では、学生らしい発想力とデザイン性、そして新しい考えを提案する作品が評価されます。

受賞に際し湯見さんは「本計画では、地域に開かれた学習・研究拠点を構想しました。私が通う天久保キャンパスと連携する施設を提案しながら、多世代が集う立地特性を活かして、円形の分棟配置と広場によって交流が自然に生まれる空間を計画しています。先生方や仲間の支えのもと形にすることができ、賞をいただいたことを大変嬉しく思います。」と語ってくれました。

## 日本建築学会で学生が 若手優秀発表賞をW受賞

# 05

日本建築学会の2つの論文発表会において、本学部を卒業し、大学院技術科学研究科に進学した木村結衣さんが若手優秀発表賞を受賞しました。1つは2025年9月に福岡県で開催された日本建築学会大会学術講演会、もう1つは2025年12月に東京都で開催された日本建築学会第20回住宅系研究報告会です。受賞したのはいずれも、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故により全町避難を余儀なくされた福島県大熊町を対象とした研究です。木村さん自ら現地で暮らし、参与観察を行いながら、居住者等への半構造化インタビューに基づく分析を進めました。居住制限解除後の生活実態、そこに至る過程や課題を明らかにすると共に、町内に多く残る空き地・空き家の暮らし再建に資する活用のあり方を考察しています。



受賞した研究内容と木村結衣さん

# Policies

## 産業技術学部 3つのポリシー

Policy

1

### ディプロマ・ポリシー

[卒業認定・学位授与方針]

産業技術学部では、聴覚障害者の高等教育機関として、「情報処理」、「ものづくり」、「デザイン」、「支援技術」を通じて共生社会の構築に参画・貢献できる専門職業人の育成を目的とし、本学における教育により以下の能力を身に付けた者に学位を授与します。

修得すべき学修目標

1. 各専門分野の専門知識と専門技術に加え、それらを応用する能力や論理的思考に基づく問題解決能力
2. 論理的思考力と自己表現力に基づく対人コミュニケーション能力を備え、情報化、国際化の発展にも柔軟に対応できる能力
3. 自らの成果を的確に伝える発信力
4. 障害者支援の技術を社会のニーズに応じて実践できる能力

Policy

2

### カリキュラム・ポリシー

[教育課程編成・実施の方針]

産業技術学部では、卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）において示した知識と技術を学修するため、以下の方針に沿って教育課程を編成します。また、障害に配慮した教育方法・教育環境により、学生一人ひとりが必要な能力を身に付けられる教育課程を編成します。

教育内容

1. 教養教育系科目の教育においては、学生の多様な知識とものの見方・考え方の涵養と健康づくりを支援するとともに、「生きる力・考える力」の育成をテーマとして、学生が自身の障害の理解に必要な広い視野と教養を身に付けられる教育課程を編成します。
2. 専門教育系科目では、社会で自立できる高度な専門知識と技術を身に付けることを目標に、学科・コースに対応した産業情報学、総合デザイン学の「専門基礎教育科目」および「専門教育科目」を配置します。学科・コース毎の専門性の高い講義内容の理解を深めるための講義と演習、実験を組み合わせた科目構成により、課題を適切に発見し、問題を解決する力を養います。さらに、プレゼンテーション技法など基礎的な表現手段について実践的に学び、研究成果等を効果的に伝えるための手法を身に付け、4年次の特別研究を通じて自らの研究を伝える発信力を養います。
3. 教員免許取得を希望する学生のために教職課程を設置し、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「教科及び教科の指導法に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、「その他の科目」を配置します。教職課程では、①学修の系統性の重視、②模擬授業、実習および教育的体験の重視、③教育関連法令や学校組織、地域社会における協同に関する学修の促進、などの観点を踏まえ、教育課程を編成します。
4. 初年次から卒業年次までを見通した系統的なキャリア教育科目及びインターンシップ系科目を開設します。
5. グローバルな視点の育成のため、国際交流短期留学制度を活用した「異文化コミュニケーション」およびその関連プログラムを実施します。

教育方法の工夫

1. 学生一人ひとりが必要な能力を身に付けられるよう、個々の障害に配慮した教育環境を整備するとともに、聴覚障害に配慮した情報保障を提供します。
2. 障害学生のための教育方法の開発、学修教材の開発、教育システムの整備を進め、自主学修、能動的学修を推進します。
3. 少人数教育の利点を生かしたアクティブラーニングを実践できるように授業の工夫を行います。
4. 1年次よりポートフォリオを活用し、自主学修ができる力、キャリア発達のためのサポートを実施します。

学修成果の評価

学修成果の評価は、授業科目ごとに定めたシラバスにおいて授業内容と方法、達成目標と評価方法を明確に提示するとともに、到達目標の達成度に基づいて厳格に行います。

## Policy

## 3

## アドミッション・ポリシー

## [入学者受入れの方針]

産業技術学部は工学系とデザイン系の専門分野を持つ学部であり、次のような人を求めています。

1. 大学での学修に必要な基礎学力を有していると共に、支援技術等の新しい分野に挑戦する意欲を持っている人
2. 工学的な事柄に興味を持ち、積極的に学修に取り組む意欲を持っている人、またはデザインに関して基礎的な表現力や発想力、感性、創造性を備えた人
3. 技術者またはデザイナーになりたいという目的意識を持っている人
4. 将来に対する目標を持ち、共生社会の構築に参画貢献しようとする意志を持っている人

## 入学者選抜方針

産業技術学部では、以下の入試による複数の受験機会を提供します。

- 一般選抜
- 学校推薦型選抜
- 社会人選抜
- 総合型選抜

産業技術学部の入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、面接、小論文、調査書、実技検査、適性検査、プレゼンテーション、総合問題など、多面的な評価による入学者選抜を実施します。

## 入学までに身に付けて欲しいこと

- 各分野の学修に必要な高等学校課程の基礎学力
- 他の人々との関わり合いの中でのコミュニケーション能力



## 情報科学コース

### Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー

情報科学コースでは、自ら学ぶ目的を常に意識できるようにするため各年次に専門教育科目を配置し、3つの分野(データサイエンス、ソフトウェア、ハードウェア)それぞれに重点を置いた履修モデルを提案します。それらを基に柔軟なカリキュラムを編成し、幅広い学修を提供します。

#### ■教育内容：

1. 情報科学全般を網羅的に学びながら、データサイエンス、ソフトウェア、ハードウェアをベースにした演習・実験を通し、4年間の学修の全体像が形成できるようにします。
2. 情報科学全般で必要と思われる基礎的な内容の講義・実験などを必修科目とし、①ソフトウェアモデルで必要とされるソフトウェア工学やプログラミングに関する講義・演習など、②ハードウェアモデルで必要とされる電子回路に関する講義・実験など、③データサイエンスモデルで必要とされるデータベース設計や情報検索に関する講義・演習などを選択科目として、専門知識修得に必要な基礎を学修します。
3. 自らの目指す将来像を元に各モデルの講義・演習・実験を通してより具体的な知識、技術の獲得を目指します。また、セミナーやプロジェクト形式の授業やキャリア教育から学生自らが積極的に問題を解決できる応用力を養います。

夢やアイデアをカタチにして、  
未来を築く技術力

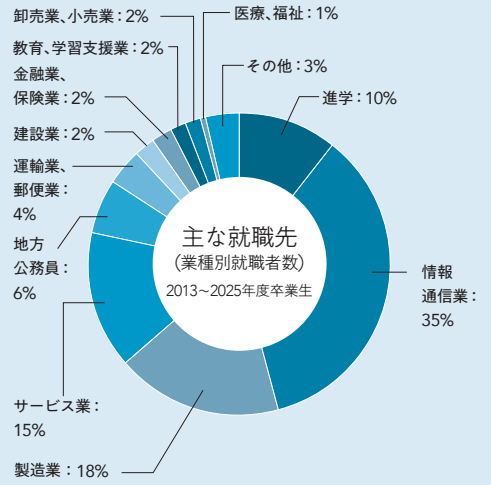
情報技術を活用した教材作成演習【教育学・演習】



A. C言語のポインタの使い方についての講義【プログラミング演習1】 B. タブレット端末用UIプログラミング【情報科学セミナーA】 C. グループでのWebアプリ開発【データベース設計論・演習】

## Graduates Data

就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。



## Students Voice

学生の声

情報科学コース2年

樋水 絆太さん

埼玉県立特別支援学校大宮ろう学園 出身

筑波技術大学(技大)は、「聞こえない、聞こえにくい」が「できない、やらない」理由にならない大学です。充実した情報保障はもちろん、キャンパス全体が手話コミュニティになっており、自分の言語で学生・教員とコミュニケーションを取ることができます。

所属する情報科学コースでは、プログラミングなど過去に触れた経験が全くない知識を学んでいます。ここでも手話コミュニティが活きており、学友と教え合ったり、会話の中で新しい気づきを得たり、教員にも手話で相談したりと、着実に理解を深めることができます。

このように、「聞こえない」から大変、が基本的にないこの大学で、何をするか、何をできるか、真に自分の行動が試され、自分を磨ける環境が技大の大きな魅力です。

## Weekly Schedule

時間割

二年

1学期	月	火	水	木	金
1				コミュニケーションと社会環境	情報リテラシー
2	心理学		英語A	歴史学	英語A
3	日本語表現法A	数学1	健康・スポーツA	解析学1	
4	産業情報基礎・演習A	修学基礎	統計確率A		
5	産業情報基礎・演習A	修学基礎	情報数理A		
6					

2学期	月	火	水	木	金
1	日本語手話言語基礎	数学2	教育心理学	コンピュータシステム概論	
2		英語B		英語B	
3	日本語表現法B	解析学2	健康・スポーツB		
4	産業情報基礎・演習B		情報保障概論	企業と社会	
5	産業情報基礎・演習B		統計確率B		
6					

二年

1学期	月	火	水	木	金
1	情報科学概論	英語C	ろう・難聴者の社会参加		幾何学1
2			健康・スポーツC	聴覚障害教育と心理	日本語テクニカルライティング
3				日本語社会とコミュニケーション	線形代数学1
4			英語C	プログラミング演習1	電気回路学・演習1
5				プログラミング演習1	電気回路学・演習1
6				特別支援教育	

2学期	月	火	水	木	金
1			プログラミング演習2	教育相談	
2		情報保障技術学・演習	プログラミング演習2	ソフトウェア工学・演習1	幾何学2
3	アルゴリズムとデータ構造	情報保障技術学・演習		ソフトウェア工学・演習1	線形代数学2
4			応用数学B	データベース論・演習	
5		統計・確率論D		データベース論・演習	
6				教育制度論	

## 先端機械工学コース

### Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー

機械工学はあらゆる産業分野で必要とされる基盤的学問分野であり、機械技術者には確かな専門知識とともに各技術分野の特性に応じた柔軟な応用力が要求されます。先端機械工学コースでは、最先端の技術をリードする工学領域として、機械工学の基礎に根ざした学問の系統性を尊重した4力学（材料、振動、熱、流体）の修得、また、機械工学に関する広範な専門知識の修得、さらに現代のものづくりに不可欠なコンピュータ支援技術（CAD/CAM/CAE/CAT）の修得を基軸として学びます。

#### ■教育内容：

1. 専門知識の修得と実践：機械要素、機械加工法などの専門知識の修得とともに、専門知識に基づいた機械工学実験を実践します。また、実社会で用いられている機械加工を体験することにより専門知識と実際のものづくりとの繋がりについて理解を深めます。さらにグローバル化が進む現代社会に適応できるように技術英語を学修します。
2. 基盤となる工学理論の修得：機械工学を学ぶために必要な力学などの基礎的知識を修得するとともに、普遍的に必要とされる工学理論である4力学（材料、振動、熱、流体）を学修します。さらに、現代社会の急速な変化に対応できるように、プログラミング、計測・制御工学などを学修します。
3. 機械設計技術の修得：機械設計技術者のコミュニケーションツールである設計・製図について、基礎科目として図学、機械設計製図演習などを通じて順次学修します。そのうえで、現代のものづくりの基盤となる、コンピュータ支援設計（CAD）、コンピュータ支援製造（CAM）およびコンピュータ支援解析（CAE）、検査（CAT）技術を活用した応用設計ならびに理論についても実践的に学修します。

“夢”から“ものづくり”へ導く  
科学的な発想力

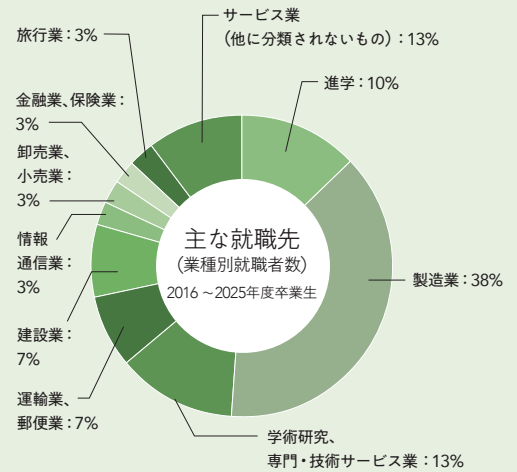
流れのコンピュータシミュレーションの説明 [流れ学]



A. 3D形状測定機による微細放電加工の観察【先端機械工学特別研究1・2】 B. SEMによるCFRPの観察(写真左)と硬さ試験機による硬さ測定(写真右)【機械工学実験A】 C. 学生が製作した小型放電加工機による加工実験【先端機械工学特別研究】

## Graduates Data

就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。



## Students Voice

学生の声

先端機械工学コース4年

大坪 周平さん

宮崎県立佐土原高等学校 出身

私は機械の専門知識を深めたいと考え、先端機械工学コースを選択しました。先端機械工学コースでは、数学の応用や4力学（材料力学、流れ学、熱工学、基礎動力学）、そしてCAD/CAM/CAEといった幅広い分野を学び、機械設計に必要な知識と技術を身につけています。工学系の学科は、実験や実習のレポートや課題も多く大変ですが、頑張ってきました。また、今年では日本で初めて2025年東京デフリンピックが開催され、この大会でデフバレーボール日本代表として試合にも出場することができました。この経験から、チームワークや粘り強さ、表現力を学びました。これらの経験を活かし、卒業後は機械系の分野で働きたいと考えています。

## Weekly Schedule

時間割

二 年	1 学期				
	月	火	水	木	金
1	CAD基礎演習		ろう・難聴者の社会参加		
2	アメリカ手話言語1 英語C				健康・スポーツC
3	力学1	英語C		機械加工法	
4	図学基礎論			機械加工法実習A	機械設計製図演習1
5				機械加工法実習A	機械設計製図演習1
6					
2 学期					
月	火	水	木	金	
1		力学2	基礎工学実験	健康・スポーツD	
2	アメリカ手話言語2	力学演習	基礎工学実験		
3			機械加工法実習B		
4	機械設計製図演習2		機械加工法実習B		
5	機械設計製図演習2				
6					

三 年	1 学期					※授業名は履修時の名称
	月	火	水	木	金	
1		英語C	基礎動力学1		流れ学1	
2			CAD/CAM/CAE概説		プログラミング基礎演習	
3	熱工学1	機械要素		材料力学1	プログラミング基礎演習	
4	金属材料学		英語C		機械工学実験A	
5					機械工学実験A	
6						
2 学期						
月	火	水	木	金		
1	福祉機器設計学	流れ学2				
2						
3	基礎動力学2			材料力学2	熱工学2	
4				技術英語1	機械工学実験B	
5					機械工学実験B	
6						

## 建築学コース

### Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー

建築学コースでは、4領域（建築意匠系・建築計画系・構造工学系・環境工学系）を基軸とした科目群を系統的かつ横断的に履修することができるカリキュラムとなっています。修得した建築学の知識と技術を通して共生社会に参画・貢献できる専門職業人を養成します。また、所定の科目を履修することにより、一級建築士または二級・木造建築士の受験資格を得ることができます。

#### ■教育内容：

1. 建築や都市空間などの計画理論とデザイン論から構成される建築計画系科目により、住宅から各種施設における幅広い建築物について適切な空間構成法を学修します。また、人にやさしい建築空間づくりの基礎知識として人間工学などの科目を通して身体や生活行動と環境との関係について学修するほか、建築経済や住宅政策、建築法規など総合的な学びを通じて、居住環境への理解力を養います。
2. 構造工学系科目では、地震や強風時の建物の安全性を評価できるよう、力学的な原理やこの原理に基づいた計算方法を学修します。さらに、コンピュータを活用した安全評価に関する解析方法（CAE）を学修します。
3. 環境工学系科目では、音・光・熱・空気などの環境要素から生活空間の快適性を評価するための理論や計算方法を学修します。また、これらの知識をより深く理解する為、建築実験や演習科目によるアクティブラーニングを行い、さらに、コンピュータを活用した環境評価に関する解析方法（CAE）を学修します。
4. 建築製図系科目では、年次進行に従い住宅から多機能な社会施設に至る多様な建築の設計課題に取り組み、計画理論や構造工学および環境工学の知識を反映させた建築のデザインと構成法を学修します。また、建築製図のみならず、建築模型やモデリングソフトによる3D表現など多彩な建築表現の理論と技術を学修します。

やさしい視点と確かな技術で  
建築・まちをつくる

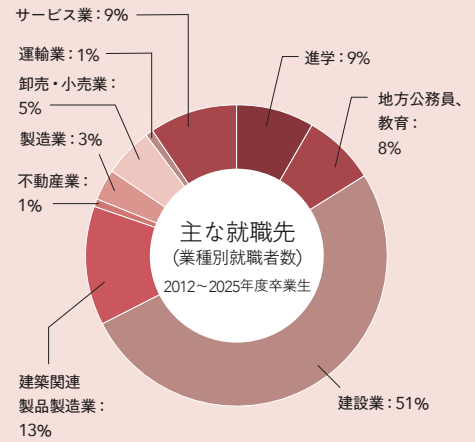
広場がある駅舎設計作品の講評会の様子【複合施設設計演習】



A. 戸建て住宅作品講評会の様子 [住宅設計演習] B. 空調換気システムのダクト設備説明の様子 [建築設備1] C. アーチとヴォールト構造の力学的特徴の解説 [一般構造・構法]

## Graduates Data

### 就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。



## Students Voice

### 学生の声

建築学コース3年

坂本 知優さん

筑波大学附属聴覚特別支援学校 出身

私が産業情報学科建築学コースを志望した理由は2つあります。1つ目は、少人数制で手話や情報保障が整い、安心して建築を学べる環境が自分に合っていると感じたからです。2つ目は、建築士の祖父が地域の暮らしを支えていた姿に憧れ、私も建築で人々の生活を支援したいと思ったからです。入学後は設計演習や実習で仲間と意見を出し合い、先生と緊密に指導を受けながら学ぶことができます。学外見学で多様な建築に触れ、設計者の思考や空間を吸収できる点も魅力です。特に、設計を通して自分の考えを形にしていく時間が一番楽しく、学びの原動力になっています。

## Weekly Schedule

### 時間割

1 学期	月	火	水	木	金
	1			ろう・難聴者の社会参加	
2	ドイツ語1	英語C	住居・住生活論	聴覚障害教育と心理	健康・スポーツC
3			英語C	日本語社会とコミュニケーション	建築基礎製図
4	建築計画基礎			環境工学基礎	建築基礎製図
5	一般構造・構法				建築基礎製図
6					
2 学期	月	火	水	木	金
	1			建築図学	
2			都市・地域計画論	建築デザイン論	
3				住宅設計演習	熱・空気環境工学1
4	建築構造基礎	建築人間工学論・演習		住宅設計演習	建築CAD演習
5		建築人間工学論・演習		住宅設計演習	建築CAD演習
6					

1 学期	※授業名は履修時の名称				
	月	火	水	木	金
1	建築材料学				
2	建築法規	建築設備1	地域施設計画論	建築史	熱・空気環境工学2
3	構造力学1	地域住環境設計演習		音・光環境工学1	環境工学演習
4	福祉住環境デザイン論・演習	地域住環境設計演習			建築プレゼンテーション演習A
5	福祉住環境デザイン論・演習	地域住環境設計演習			建築プレゼンテーション演習A
6					
2 学期	月	火	水	木	金
	1			構造力学演習	
2	就活活動支援		構造力学2	造園計画論	設計論
3	建築生産	音・光環境工学2		地域施設設計演習B	建築設備2
4	建築実験			地域施設設計演習B	
5	建築実験			地域施設設計演習B	
6					

# Profession

総合デザイン学科

## クリエイティブデザイン学 コース

### Curriculum Policy

カリキュラム・ポリシー

クリエイティブデザイン学コースでは、3つの分野（情報デザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザイン）それぞれに重点を置いた履修モデルを提案し、それらを基に柔軟なカリキュラムを提供します。

#### ■教育内容：

1. 人びとを豊かにするためのデザイン思考を身に付けるため、1年次ではデザインの基礎を、2年次ではデザインの各論を幅広く学び、人とデザインの関係について理解を深めます。3～4年次では各領域の専門内容に特化した概論・演習を通じて、デザインの発散的思考方法と収束的思考方法を学修します。4年間を通じてデザインプロセス、美的感覚、コラボレーション、オリジナリティに関わる実践的な創造活動を行います。
2. デザインの最適解を導き出そうとする創造性を身に付けるため、1年次ではデザインの諸分野に関する概論や基礎演習を通じて3つの履修モデルのデザイン分野を体験し、デザインの素養を幅広く身に付けます。2～4年次ではそれぞれの履修モデルに分かれ、テーマに応じた演習科目などを学修し、問題を発見し解決するための知識と技術を身に付けます。4年次では自ら設定したテーマでデザイン提案を行います。
3. 自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けるため、1～2年次ではプレゼンテーション技法、コンピュータグラフィックスなど基礎的な表現手段について学びます。3年次では企画・立案・デザインを効果的に伝えるための手法を身に付けます。最終学年では、デザイン学特別研究に取り組み、最終成果のプレゼンテーションを行います。4年間を通じて自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けます。

デザイン思考で  
美と機能をソウゾウする

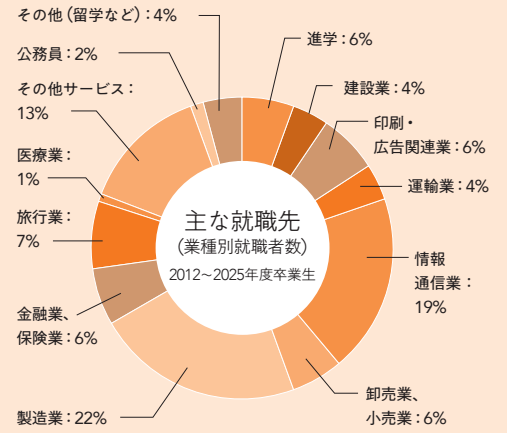
ポスターデザインのディスカッション【グラフィックデザイン論・演習A】



A. 配色法に関する講義【色彩論】 B. 透明水彩画による写実的描法【絵画基礎技法】 C. 3Dプリントによるモデル制作【プロダクトデザイン論・演習A】

## Graduates Data

就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。



## Students Voice

学生の声

クリエイティブデザイン学コース3年

櫻井 日菜さん

筑波大学附属聴覚特別支援学校 出身

私が本学を志望した理由は、幼稚園から高等部まで雙学校で学んできたため、安心できる環境で少しずつ社会経験を積みたいと考えたことです。

私は当初、デザインスキルに自信がありませんでしたが、1年次から基礎をしっかり学べるカリキュラムが整っており、自分の得意分野や興味を見つけることができました。2年次からは専攻を自由に選択できるため、自分の興味、将来の目標に合わせてより専門的に学ぶことができます。

また、手話や筆談、講義資料の配布など情報保障が充実しており、安心して学べる環境です。さらに、学生会やサークル、部活動などの課外活動も活発で、学業と両立しながら経験を積むことができます。

## Weekly Schedule

時間割

1学期	月	火	水	木	金
1	ユニバーサルデザイン論		ろう・難聴者の社会参加		健康・スポーツC
2	アメリカ手話言語1	英語C	プロダクトデザイン論		情報デザイン論
3		美術技法B	英語C		
4	平面造形論・演習	美術技法B			
5	平面造形論・演習	社会シミュレーション論			
6					

2学期	月	火	水	木	金
1		日本語テクニカルライティング	情報デザイン基礎論・演習		
2	アメリカ手話言語2		情報デザイン基礎論・演習		グラフィックデザイン基礎論・演習
3		きこえない人の生活文化	グラフィックデザイン基礎論・演習		
4	プロダクトデザイン基礎論・演習	デザインCAD・3D演習	CG演習		エディトリアルデザイン論・演習
5	プロダクトデザイン基礎論・演習	デザインCAD・3D演習	CG演習		エディトリアルデザイン論・演習
6					

1学期	月	火	水	木	金
1	マーケティング論・演習				工芸論
2	マーケティング論・演習				彫塑演習
3	グラフィックデザイン論・演習A	クリエイティブデザイン演習	デザイン学特別講義	人間工学	彫塑演習
4	グラフィックデザイン論・演習A	クリエイティブデザイン演習	デザイン学特別講義		Webデザイン論・演習
5					Webデザイン論・演習
6					

2学期	月	火	水	木	金
1					
2	就職活動支援	アクセシブルデザイン演習B			
3	工芸演習	グラフィックデザイン論・演習C			
4	工芸演習	グラフィックデザイン論・演習C			デザインプレゼンテーション演習
5					デザインプレゼンテーション演習
6					

※授業名は履修時の名称

## 支援技術学コース

### Curriculum Policy カリキュラム・ポリシー

#### [ 情報保障工学療育 / 福祉機器工学 / 福祉住環境学 ]

産業情報学科支援技術学コースでは、3つの分野（情報保障工学、福祉機器工学、福祉住環境学）の領域を編成し、それらを基に柔軟かつ横断的なカリキュラムを提供します。

##### ■教育内容：

1. 情報科学に関する科目および人の支援技術に関する科目を通して、情報保障を科学的に分析し評価する方法ならびに新たな情報保障システムを生み出すための技術について学修します。
2. 幅広い教育系科目を修得するとともに、ものづくりに必要な機械工学の基本的な専門知識や機械設計技術を順次身に付け、それらを実践する力を養います。さらに、福祉機器工学の知識を身に付けることにより、現代における様々な社会環境と人間との調和に貢献できる福祉機器設計について学修し、高度情報化社会に貢献できる新たな価値を創造できる応用力を養います。
3. 住空間や都市空間における障害者や高齢者などの行動特性について学修できる建築計画系科目と福祉論などの支援技術学系共通科目により、人にやさしい環境のデザイン理論を学びます。また、建築製図系の科目により、それらの建築的表現法を学修します。これらの学修を通じ、人間のQoLの向上に寄与するまち・建築・空間を提案できる力を有する人材を養成します。また、所定の科目を履修することにより、二級・木造建築士の実験資格を得ることができ（資格取得後は、将来的に一級建築士にステップアップできます）。
4. 障害支援技術に関する共通科目および領域横断科目を設け、福祉や支援に関わる基礎的な内容を広く学修します。

#### [ アクセシブルデザイン学 ]

総合デザイン学科支援技術学コースアクセシブルデザイン学領域では、3つの分野（情報デザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザイン）のデザイン系科目と支援技術に関わる学部横断科目で編成したカリキュラムを提供します。

##### ■教育内容：

1. 人びとを豊かにするためのデザイン思考を身に付けるため、1年次ではデザインの基礎を、2年次ではデザインの各論を幅広く学び、人とデザインの関係について理解を深めます。3～4年次では情報デザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザインの専門内容に加え、アクセシブルデザイン学に特化した論・演習を通じて、支援技術に関わるデザインを学修します。4年間を通じてデザインプロセス、美的感覚、コラボレーション、オリジナリティに関わる実践的な創造活動を行います。
2. アクセシブルデザインの最適解を導き出そうとする創造性を身に付けるため、障害支援技術に関する共通科目および福祉に関わる基礎的な内容を広く学修します。さらに、人間工学、ヒューマンインタフェースデザイン、アクセシブルデザインなどに関わる専門科目を学修し、問題を発見し解決するための知識と技術を身に付けます。4年次では自ら設定したテーマでデザイン提案を行います。
3. 自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けるため、1～2年次ではプレゼンテーション技法、コンピュータグラフィックスなど基礎的な表現手段について学びます。3年次では企画・立案・デザインを効果的に伝えるための手法を身に付けます。最終学年では、アクセシブルデザイン学特別研究に取り組み、最終成果のプレゼンテーションを行います。4年間を通じて自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けます。

誰ひとり取り残さず、  
「あったらいいな」で、未来をつくる



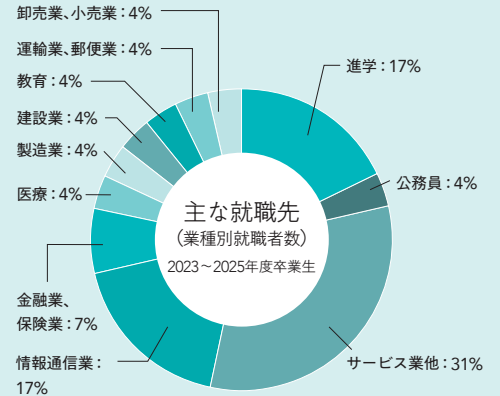
高齢者施設的设计に関する議論の様子 [ 支援技術学論・支援技術学演習A ]



A. 盲ろう講師との直接対話による障害理解 [支援技術学演習B] B. 測定機器を活用した補聴器の性能評価 [情報保障システム工学・演習] C. 義手の制作 [支援技術学論・支援技術学演習A]

## Graduates Data

就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。



## Students Voice

学生の声

支援技術学コース 情報保障工学領域2年

中村 大地さん

岩手県立盛岡聴覚特別支援学校 出身

私が産業情報学科支援技術学コース情報保障工学領域を志望した理由は大きく2つあります。1つ目は、全国からろう者が集まる大学で学ぶことで、地域にとらわれず多様な価値観や考え方に触れ、自分の視野を広げたいと考えたからです。2つ目は、情報保障や支援技術を工学的な視点から学べる点に大きな魅力を感じたことです。アメリカ手話の講義や国際交流を通して、国内外のデフの人々に関わりながら、情報通信技術を用いて情報格差を減らす方法を実践的に学べる環境であることを実感しています。将来は、ろう者が不自由なく情報にアクセスできる社会を、技術の力で実現したいと考えています。

## Weekly Schedule

時間割

二年 1学期

月	火	水	木	金
1			コミュニケーションと社会環境	情報リテラシー
2	心理学	英語A	歴史学	英語A
3	日本語表現法A	数学1	健康・スポーツA	解析学1
4	産業情報基礎・演習A	修学基礎	統計確率A	
5	産業情報基礎・演習A	修学基礎	情報数理A	
6				

2学期

月	火	水	木	金
1				コンピュータシステム概論
2	情報数理B	英語B	経済学	英語B
3	日本語表現法B	数学2	健康・スポーツB	
4	産業情報基礎・演習B		情報保障概論	
5	産業情報基礎・演習B		統計確率B	
6				

二年 1学期

月	火	水	木	金
1	情報科学概論		ろう・難聴者の社会参加	
2	アメリカ手話言語1	英語C		聴覚障害教育と心理 健康・スポーツC
3	支援技術学論	英語C		線形代数学1
4	支援技術学演習A		プログラミング演習1	電気回路学・演習1
5			プログラミング演習1	電気回路学・演習1
6			特別支援教育	

2学期

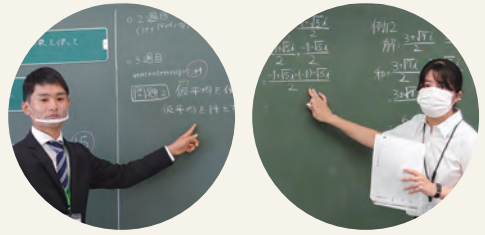
月	火	水	木	金
1	聴覚科学		プログラミング演習2	健康・スポーツD
2	アメリカ手話言語2	情報保障技術学・演習<情報系>	プログラミング演習2	ソフトウェア工学・演習1
3	アルゴリズムとデータ構造	情報保障技術学・演習<情報系>		ソフトウェア工学・演習1
4			データベース論・演習	
5			データベース論・演習	
6				

※授業名は履修時の名称

# Education

## 教職課程

障害者高等教育研究支援センター  
障害者基礎教育研究部 [教職課程部門]



学内における模擬授業

## Message

メッセージ

### 本学部の卒業生が 教員として活躍

特別支援学校高等部で数学を教えています。



長谷川ちか子さん

神奈川県立平塚ろう学校  
[産業情報学科情報科学専攻2015年度卒業]

私は現在、神奈川県立平塚ろう学校の教諭として、高等部で数学と自立活動を担当しています。授業だけでなく、毎日の何気ない会話を大切に、生徒がより楽しく学校生活を送れるように心がけています。教えることの難しさを感じるとともに、どうやったら伝わるかな？と考えたり、同僚と相談しながら業務を進めたりして、日々学んでいます。

筑波技術大学受験のきっかけは、「教員免許を取得すること」と「聴覚障害である自分を受け入れること」でした。高校まで健聴の学校に通っていましたが、聴覚障害のことについてあまり考えずにいました。自分のことや聴覚障害のことについてしっかり知りたくなったときに、筑波技術大学があることを知りました。また、将来は自分の経験を活かした職業に就きたいと考えた時に、児童生徒と関わることのできる教員になりたいと思いました。大学に、教職課程があることも魅力的でした。

大学入学後は、知らないことも多く、驚きの毎日でしたが、初めて手話を覚え、多くの意見交換ができました。親身になってくれる先生や同級生に恵まれ、楽しい4年間を過ごすことができました。

大学卒業後は、特別支援教育についてさらに学びたいと思い、進学しました。筑波技術大学での学びや色々な人との関わりで得たことは、今でも自分の中にあり、活かされていると感じています。

在学中は多くの人と交流し、そのつながりを大切にしてください。自分の経験や考えをたくさん発信して行ってほしいと思います。貴重な4年間を充実したものにしてってください。応援しています。

### 【卒業生の進路(教職関係)】

#### 就職

特別支援学校教員(常勤、非常勤)／職員(実習助手)／  
高等学校教員(常勤、非常勤)／中学校(常勤、非常勤)

#### 進学

上越教育大学大学院／兵庫教育大学大学院／愛媛大学大学院／  
大阪教育大学特別支援教育特別専攻科／東京学芸大学特別支援教育特別専攻科等

産業技術学部では、所定の単位を修めることにより教員免許を取得することができます。教職課程の授業は1年生から始まり、原則4年生時に2～3週間(取得免許状によって異なる)の教育実習を行います。

本学で一緒に教員をめざしている視覚障害学生との交流、特別支援学校等との交流やボランティア活動、特別支援学校や社会福祉施設での介護等体験、現職教員の講演会等、体験や交流を盛り込んだ活動を4年間を通して用意しています。また、卒業後さらに教育について専門的に学ぶため、他大学の教育関係学部、大学院等への進学をめざす学生も近年増加しています。教職課程は、通常の卒業単位に加えて、さらに多くの授業を取り、教育実習等も行う必要があり、決して簡単な道ではありません。しかし、教育というのは子どもたちの成長を支え、多くの経験や喜びを共にすることができる素晴らしいものです。その喜びと、教師としての責任を考えながら、教職への道を歩んでください。

## 取得可能免許一覧

学科(コース)	免許状の種類及び教科
産業情報学科 情報科学コース 支援技術学コース	中学校教諭一種(数学) 高等学校教諭一種(数学) 高等学校教諭一種(情報)
産業情報学科 先端機械工学コース 建築学コース 支援技術学コース	中学校教諭一種(数学) 高等学校教諭一種(数学) 高等学校教諭一種(工業)
総合デザイン学科 クリエイティブデザイン学コース 支援技術学(アクセシブルデザイン学)コース	中学校教諭一種(美術) 高等学校教諭一種(美術)

※特別支援学校教員免許は取得できません。ただし、卒業後他大学や大学院、特別支援教育専攻科などに進学し、特別支援学校教員免許や小学校教員免許などを取ることは可能です。

## 4年間の流れ

学年	月	内容	教職課程科目
1年生	4月	教職課程ガイダンス 教職課程授業開始	教職課程科目 専門(教科)教育科目 教養教育系科目
2年生	2月～7月 6月～2月頃	教育実習先内諾活動 介護等体験 (特別支援学校2日間、社会福祉施設5日間)	
3年生	4月	教育実習ガイダンス	
4年生	4月 7月 6月～10月頃 11月 3月	教育実習事前指導 公立学校教員採用試験(私立学校は随時) 教育実習(2週間もしくは3週間) 教員免許状一括申請 学位記授与式・教員免許状交付	

## 時間割例 数学の免許取得をめざす1年生の2学期時間割例です。

	月	火	水	木	金
1時限		日本語表現法B	線形代数学1	教育心理学	コンピュータシステム概論
2時限	アメリカ手話言語2		英語B	法律学	
3時限	日本手話言語基礎	英語B			健康・スポーツB
4時限		産業情報基礎・演習B		企業・社会への参加とコミュニケーション	情報数理B
5時限		産業情報基礎・演習B		統計確率B	解析学2
6時限(教職科目のみ)					
集中(休日、長期休暇等)	日本国憲法				

※ 教科及び教科の指導法に関する科目、 教育の基礎的理解に関する科目等、 免許法第66条の6に定める科目



学内の授業ではグループワーク等も行います。



教育実習風景。実習校の指導の下、指導案や教材も作成します。

## Message

### メッセージ

#### 鈴木裕也さん

産業情報学科  
情報科学専攻2021年度卒業



教員になるという意思を持って教職課程を履修しました。学年が上がるごとに教職に関する科目が増え、教育に関する知識が増えるごとに教員になりたいという気持ちも次第に高まりました。教職課程で数学と情報の教員免許取得をめざしながら、卒業のための学習をするのはかなり忙しいですが、数学をより知ろう、教育についてより知ろうという知的探求心をくすぐられる機会は非常に多いです。教職に関する講義は多く、出前講座や交流会の企画もあるため、教員になるための環境は充実していると感じています。この学部案内を読んでいる皆さんへ、教員になりたいという強い志を持つ方はぜひ教職課程を履修してみてください。

※本学教職課程センターは、「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」に沿った対応をしていきます。詳細は、<https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>をご覧ください。

# Education

## 教養教育系科目

障害者高等教育研究支援センター  
障害者基礎教育研究部 [聴覚障害教育実践部門]

学 び の 場	で き る	分 か る	伝 わ る
------------------	-------------	-------------	-------------



講義と実技で自分の身体を理解する「健康・スポーツ」の授業風景

障害者基礎教育研究部では「人間性」の土台となる幅広い教養や、専門分野を学ぶための基礎学力を身につける科目を中心に担当しています。多彩な学問を通じて、広い視野と総合的な判断力、豊かな人間性を涵養し、社会に貢献する人材の育成を行っています。授業担当教員の専門領域やキャリア、バックグラウンドも多種多様。ぜひ自分の興味のある授業を履修してみてください。



きこえない教員による授業



非常勤講師の授業には情報保障が導入

### [教養教育系科目]

- 手話コミュニケーション入門・演習
- アメリカ手話言語1・2
- 英語A・B・C・D
- 日本語表現法A・B
- 健康スポーツA・B・C・D
- 修学基礎
- 情報保障概論
- 企業・社会への参加とコミュニケーション
- 異文化コミュニケーション
- 現代科学 等

## 人生の 基礎を 築く教育

### 幅広い教養を培う

専門職業人になるためにも、豊かな人生を送るためにも、教養教育は欠かせません。国際化に必要な英語も視覚教材・手話・口話・板書等を用いた授業で深く学べます。

### コミュニケーション能力を高める

言語力をさらにのびするための[日本語表現法A・B][日本手話言語基礎]が設置されているほか、自分の聴覚障害を理解し、今後のコミュニケーション方法を考える科目が充実しています。

### 障害を理解する

本学では障害に関して学ぶ科目が多数設置されています。障害を正しく理解することによって、自己を確立し、社会との関わり方が考えられるようになります。

### すべては、学生のために

学習面での相談はもとより、生活面での相談も、クラス担当・副担当およびアカデミック・アドバイザー（AA）教員が受け付けます。適宜、保護者と連携して、学生の入学から卒業までを支えます。

## Pick Up

### 教員紹介

#### 神村 幸蔵 先生

[英語A / 英語B / 英語C / 英語D]



これまで、中学校、高校、大学とさまざまな学校で英語を教えつつ、読解中に初めて見た英単語の意味推測の方法やその後の学習などについて研究してきました。

本学では、主に1年生、2年生対象の英語を担当します。私の授業では、単語や文法といった英語の基礎を固めつつ、グループワークやオンラインで利用可能なリソースを活用することで英語のインプットとアウトプットの両方の指導を行っていきます。また、授業では、手話、口話、板書、ディスプレイやプロジェクターなど視覚情報による情報保障を提供しつつ、適宜受講生の理解の確認をしながら授業を進めます。

現代は、インターネットを通して知りたい情報にアクセスしたり世界中の人々と気軽にコミュニケーションを取ったりことができる素晴らしい時代です。そのような時代にみなさんと世界をつないでくれる架け橋となる英語を、一緒に学んでいきましょう！



少人数指導

## 障害に 配慮した 授業

### 多様な方法で情報獲得

視覚教材・手話・口話・板書等々、授業では、様々な伝達方法を用いて、内容を伝える工夫がされています。情報バリアのない、分かる実感が得られる授業を提供します。

### 対話を重視した授業

専任教員は学生に伝わるコミュニケーション方法で直接的に教育します。授業は少人数で、すべての学生が教員と意思疎通しながら学べます。たくさん発言して積極的に学んで下さい。

### できる力を養う演習

講義から得た知識を定着させるため、また、間違った理解を修正するためには、体験することが一番です。本学では演習・実習・実験を多数配置し、できる力につながる教育を行っています。

### 少人数で進める語学教育科目

語学教育科目として、1年では、英語と日本語（必修）、手話言語（選択必修、選択）があります。必修科目と選択必修科目では、きめ細かい指導ができる少人数教育のために、1年生全員を3～4集団に分けています。

### 分かるまで受けられるサポート

高等学校までの学習が十分でなく、本学の授業についていけない場合でも、一部科目についてはチューター（個人指導者）が放課後などを利用して、マンツーマン指導します。

### 非常勤講師の授業も分かる

音声のみの非常勤講師の授業では、パソコン要約筆記・リアルタイム字幕提示システムによって文字情報を得ることができます。

# Supports

## 充実した支援サービス

### 障害者高等教育研究支援センター 障害者支援研究部 [聴覚障害部門]

「授業での不便さを解消するため、ノートテイクのサポートを受けられる」等、最近では各大学においても障害のある学生の修学機会を保障する取組みがされています。

でも、将来の夢に向かって一歩ずつ成長しようとする学生にとって、活用したいサービスは、何も授業中の支援のみにとどまらないはずです。「大学生活中にもっとコミュニケーションスキルをのびしたい!」「いつでもどこでも『分かる』環境がほしい」そんな学生のニーズに応えるため、本学では聴覚障害に対応したきめ細かな指導・サービスを提供しています。

また、ここで培われたノウハウや、本学の最先端の技術は聴覚障害学生支援のための全国ネットワークを通じて、大学・短期大学で学ぶ聴覚障害学生の学習環境改善のためにも役立てられています。

た  
め  
に  
学  
生  
の  
聴  
覚  
障  
害  
す  
べ  
て  
は



聴力測定

### 聴覚管理・補聴相談

聴覚を活用している学生にとって、残存聴力の低下や「きこえ」の変動は大きな不安をともしなうものです。本学では、これまで活用してきた聴力を維持し、よりよい「きこえ」の状態を保つことができるよう、一人ひとりの聴覚管理を行っています。また、聴覚障害学生が自ら「きこえ」の程度を把握し、補聴器及び補聴援助システムの自己管理ができるようになるために、きめ細かな補聴器活用支援を行っています。



オンラインを活用したシンポジウム・研修会の実施



遠隔情報保障システム T-TAC Caption2



CATV モニタ



字幕挿入システム

## 遠隔情報保障システム

授業の一環で行われる研究所見学などでは、音声のみで説明がなされることもあります。こうした場面でも「分かる」環境を提供するため、手話による通訳の他、パソコンノートテイクや音声認識と組み合わせて使用できるシステムを技術開発・利用しています。

## 発音・コミュニケーション指導

学生一人ひとりのニーズやコミュニケーション特性にあわせて、発音やスピーチ、コミュニケーションに関する指導を受けることができます。また、3～4年次の就職活動の際には、就職面接にあわせたコミュニケーション指導も提供されており、社会に出る前の準備も万端に整えられます。



発音・コミュニケーション指導

## 目で分かる連絡・広報

通常、音声で伝えられる連絡・広報も、本学では視覚を活用した形で提示されています。学内には74箇所CATVモニタが設置されており、授業の予定変更やさまざまな連絡はここに表示されます。また、非常時には音や光による警報があります。いつでも情報を逃すことはありません。

## 手話・コミュニケーション指導

手話が分からない学生は、入学時友達とのコミュニケーションに不安を抱きがちです。こうした不安を一刻も早く取り除くため、1年次の必修科目として手話の指導が行われています。また、手話学習やコミュニケーション上の悩みを感じている学生に対しては、マンツーマンでの相談対応を行っています。



手話コミュニケーション指導

## 字幕入りビデオ教材

授業で学習した内容をもっと深く理解したい。そんな時には、図書館に架蔵された字幕入りビデオ教材を活用することができます。これらの字幕は本学で開発された字幕挿入システムによって作成されたもので、現在までに約1110本の教材が作成されています。

## きめ細かな就職支援

聴覚障害学生にとって、卒業後どんな職場に就けるかは大きな不安の一つです。本学では、学生および卒業生に対して就職模擬試験や面接・職場実習・職場適応に関する指導や支援を行っています。また、企業との連携を深めるための取り組みや、卒業生の職場適応に関する相談も行っています。



就職活動に関する個別相談

## 聴覚障害学生 支援ネットワーク拠点

本学では、他大学・短期大学で学ぶ聴覚障害学生の学習環境整備のため、積極的に支援を行っている大学・機関に呼びかけ、日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan) を構築しています。聴覚障害学生支援に関する大学教職員等からの問い合わせに対応している他、啓発教材の開発やシンポジウム・研修会の開催などを行っています。

日本聴覚障害学生高等教育支援  
ネットワーク (PEPNet-Japan)  
正会員大学・機関  
★印は幹事大学・機関 (2025年4月現在)



# Sociality

## 国際交流

地図内の○印は大学間交流協定に基づく、産業技術学部との学術交流協定校です。



ASL 講習会



ギャロデット大学での記念写真



学生交流の様子（ギャロデット大学の学長たちと）



海外研修報告会

学生が、世界の障害者と交流し、世界に興味を持って視野を広げることを支援するために、本学は、海外の大学と交流協定を結び、現地の学生と共に授業を受けたり交流を深めたりするというプログラムを実施しています。

このプログラムは、特設授業科目「異文化コミュニケーション」で実施され、希望者の中から選ばれた学生が協定校に派遣されます。派遣のための費用支援は大学の基金等から行っています。

2025年度は、協定校を含む海外から筑波技術大学へ多くの訪問があり、学生との交流を行いました。また、本学教員の引率により、インドネシア教育大学(インドネシア)、マヒドン大学(タイ)、デ・ラ・サール・カレッジ(フィリピン)、ロチェスター工科大学・国立聾工科大学(米国)へ学生が派遣されました。新しい試みとして、インドネシアのSLBN チチェンド(特別支援学校<聴覚障害>)との交流会を定期的に行いました。

米国に行く学生は勿論、興味のある学生は誰でも参加できるアメリカ手話(ASL)の講座も実施しています。



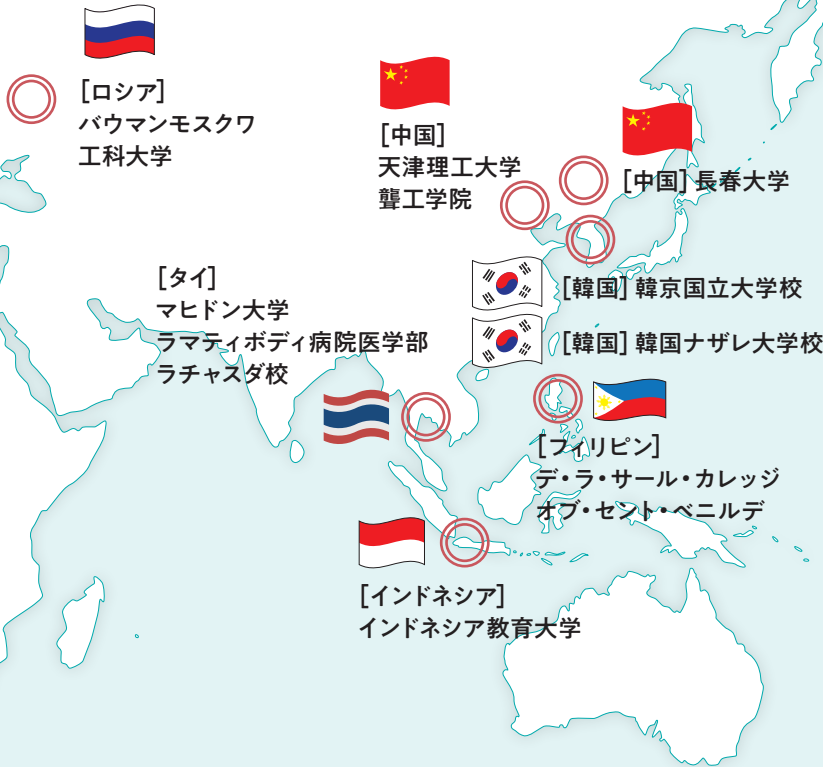
バウマンモスクワ工科大学学生との交流会



海外派遣研修(天津理工大学)での授業体験



韓国国立大学校におけるUDカフェでの車椅子体験



デ・ラ・サール・カレッジとのオンライン国際協働学習

## Message

メッセージ

総合デザイン学科 2年  
 (研修当時)  
 坂本拓登さん



ギャロデット大学への海外派遣研修は、私の視野と知見を大きく広げる貴重な体験となりました。

日本国内では「ろう」について深く知ることに限界を感じていた私は、海外のろう者やろう文化に直接触れることで、「ろう」に対する理解を深めたいという思いから研修に参加しました。

ギャロデット大学と、筑波技術大学は、ともにもろう・難聴者が集う大学という点で共通点があるように見えますが、その根本は全く異なっていました。

学長がろう者。これだけでもかなり違っていました。学生、教員、職員の誰もが日常的に手話でコミュニケーションを取る環境は、まさに「ろう者のための大学」が持つべき姿だと感じ入りました。この環境こそが、日本とは異なるギャロデット大学のアイデンティティを形作っているのだと、感嘆させられました。

研修で集中的に学んだアメリカ手話(ASL)は、大きな財産です。研修終了後も、外国のろう者とASLや国際手話(IS)を用いてコミュニケーションを取る機会が格段に増え、国際交流の機会は圧倒的に増加しました。言語の壁を越え、様々な世界や価値観が見えるようになりました。

### 研修の日程(参考) [2024年度米国東部・ギャロデット大学]

- 3/8(土) 日本出国、ワシントンD.C.着、サイニングストア(手話が共通言語のスターバックス)訪問
- 3/9(日) 異文化体験、ナショナルモール等歴史・文化施設見学
- 3/10(月) 表敬訪問、キャンパスツアー、多文化学生プログラム
- 3/11(火) 授業見学、寄宿舎見学、デフ・プレジデント・ナウ・プレゼンテーション
- 3/12(水) キャンパスツアー、振り返り、障害を持つアメリカ人法ドキュメンタリー上映会、学生自治会への参加

- 3/13(木) 同窓会、アーカイブセンター・レジリエンスセンター等訪問、授業見学、学生イベント
- 3/14(金) 授業・モーションライトラボ見学、ろう者が運営する店を訪問
- 3/15(土) 国会議事堂、Apple Store等見学、現地在住者との交流
- 3/16(日) 異文化体験、歴史・文化施設見学
- 3/17(月) アメリカ出国
- 3/18(火) 帰国

# Sociality

## 社会貢献

大学の使命は教育、研究、そして社会貢献です。産業技術学部では、社会貢献活動の一環として、地域やろう学校と連携し、「ものづくり教室」「公開講座」「出前授業」「社会人学び直しプログラム」「ユニバーサルデザイン研修」などの活動を、年間を通して積極的に進めています。ここでは、多様な活動のうちの一部を紹介します。今後も、さまざまな社会ニーズに応じて、産業技術学部が持つ専門的な技術やノウハウといったリソースを活用しながら、社会の持続的発展に寄与できるような活動に取り組んでいきます。

### ものづくり教室

本学部教員・学生のボランティア活動の一環として、ろう学校に出向いて小中学生を対象にしたものづくり教室を開いています。これまでに、絵画・造形教室として、「マーブリング遊び」「フォトフレーム作り」「スノードーム作り」を開講しました。本学部で学んだ知識を生かして、子供たちにもものづくりの楽しさを教えています。



ろう学校の児童に作り方を教えている様子



東京都立葛飾ろう学校における「ものづくり教室（スノードーム作り）」

### 出前授業

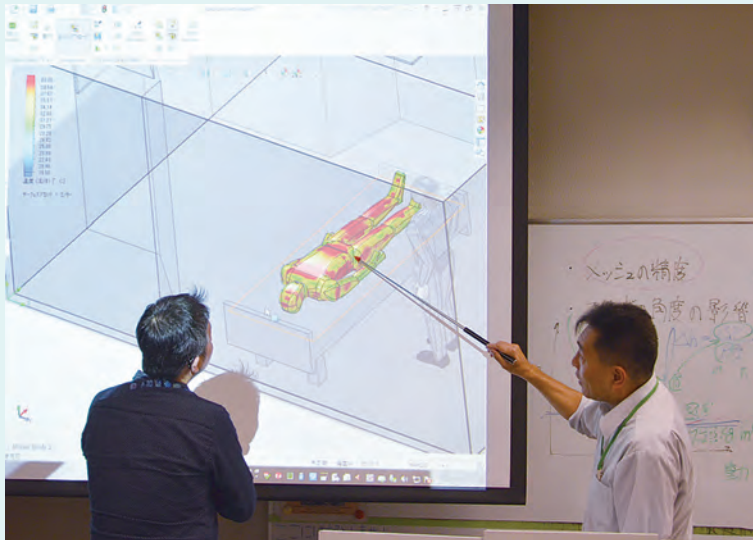
出前授業では全国の希望する学校に教員が出向き、児童・生徒に授業を行います。車型走行ロボット、プログラミング、レンダリング、絵文字や統計処理など希望に応じたさまざまな授業です。

※出前授業の詳しい内容はこちら。

[https://www.tsukuba-tech.ac.jp/social\\_contribution/lecture\\_on\\_demand.html](https://www.tsukuba-tech.ac.jp/social_contribution/lecture_on_demand.html)



## 学び直し [リカレント教育]



社会人学び直しの授業

本学では、聴覚に障害のある社会人の方を対象としたリカレント教育に力を入れています。「社会人学び直しプログラム」では、プログラム内容や実施期間等を受講希望者のニーズに合わせて柔軟に調整しながら、教員自ら行う手話やプロジェクタ、直接指導等による視覚的実践の情報保障のある環境で、企業や社会において必要な知識や技術を学ぶ機会を提供します。その他にも様々な講座を企画しており、録画配信等により多様な受講スタイルに対応できる形をめざしています。

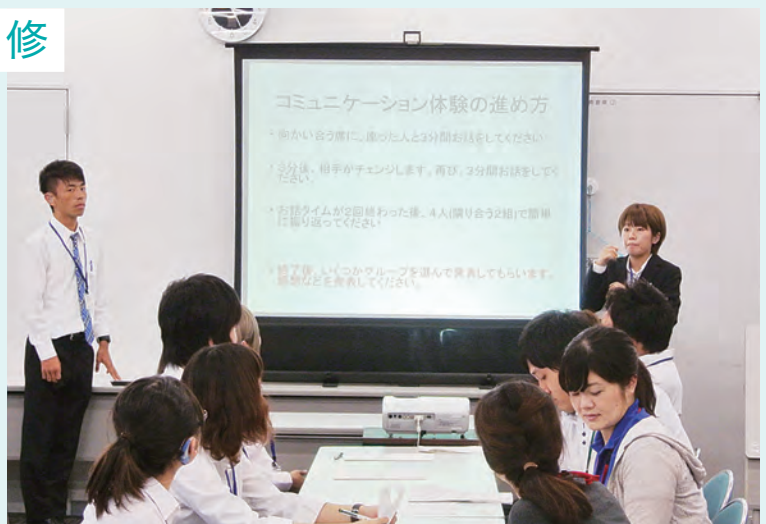
※「社会人学び直しプログラム」の詳しい内容はこちら。  
[https://www.tsukuba-tech.ac.jp/social\\_contribution/relearning/index.html](https://www.tsukuba-tech.ac.jp/social_contribution/relearning/index.html)



社会人向けオンライン講座の様子

## ユニバーサルデザイン研修

産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、授業科目の一環として、「つくば市職員ユニバーサルデザイン研修」の一部講座の計画立案・実施・評価を行っています。この研修は、つくば市から委託されている事業であり、つくば市職員を対象に毎年行われています。写真は市職員と本学の聴覚障害学生とのコミュニケーション体験の様子です。



市役所職員に対する説明

# Campus Life

## 課外活動



NTUTバレーボール部



野球サークル



バスケットボールサークル



NTUT陸上サークル



フットサルサークル



卓球部



BADMINTOX



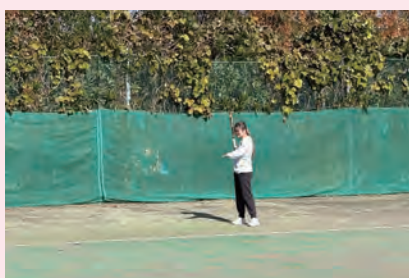
IDFC



Flowin' Friends (ダンスサークル)



バドミントン部



テニスサークル



ボルダリングサークル



ゲームサークル「ゲームランド」



UN - FROZEN



軽音部

**部活動・  
サークル活動**

課外活動は、豊かで幅広い人間性を育成するうえで、有意義な活動です。友人同士や仲間同士で3名集まると、新しいサークルを作ることができます。

**体育・  
課外活動施設**

武道場・トレーニング室を備えた体育館、グラウンド、テニスコート等があります。これらの施設は、課外活動等で利用することができます。



手話のゆかり



フリエイティブ・オルタナ



Mathmacircle

**Pick Up**

**「天龍祭」開催**

2025年10月12日、天久保キャンパスにおいて学園祭「天龍祭」が開催されました。

学生有志が企画し、飲食店や販売、展示に加え、手話落語や手話ソングパフォーマンス、春日キャンパスとの交流会などが企画されました。外部団体やスペシャルゲストの来学なども含め、多くの企画が学生を中心として企画されました。今年も普段の授業の時の様子とは異なる学生の底力を感じられる学園祭になりました。



**活動日・活動時間 (2026年3月現在)**

団体名	月	火	水	木	金	土	日
NTUTバレーボール部		17:00-21:00				9:00-12:00	
野球サークル	14:30-17:00		14:30-17:00			9:00-12:00	
バスケットボールサークル			17:00-21:00				
NTUT陸上サークル	18:30-20:30		18:30-20:30		18:30-20:30	14:00-16:00	
フットサルサークル				18:00-21:00			
卓球部	17:00-21:00					13:00-17:00	13:00-17:00
BADMINTOX						17:00-21:00	17:00-21:00
IDFC			15:00-19:00				15:00-19:00
Flowin' Friends(ダンスサークル)	17:00-21:00		17:00-21:00	17:00-21:00			17:00-21:00
バトミントン部			(基本的に金曜日は大会前のみ)		18:00-21:00※	17:00-21:00	17:00-21:00
女子バレーサークル							10:00-12:00
テニスサークル						9:00-13:00	9:00-13:00
ボルダリングサークル					18:00-21:00		
ゲームサークル「ゲームランド」		火曜日または木曜日 不定期		18:00-21:00			
UN-FROZEN		不定期		10:00-17:00			
軽音部						13:00-17:00	13:00-17:00
手話のゆかり		月曜日または金曜日		月1~2回	18:00-19:00		
フリエイティブ・オルタナ			18:00-21:00			(日曜日のみ不定期)	13:00-17:00
Mathmacircle			18:00-20:30		18:00-20:30		

# Campus Life

## 施設・イベント



## 共用棟

共用棟館内には、学生一人ひとりのメールボックス・学生のための集会室・寄宿舎居住者用男子浴室(女子は寄宿舎内)・和室があります。夜間及び休日等の対応のために、共用棟に事務室を置き、本学委託の管理業務者が勤務をしています。夜間(24時以降翌朝7時まで)でも緊急時に対応できる体制を整えています。

## 図書館

学修・研究に必要な専門資料や、教養のための図書・雑誌、字幕入りのビデオ等を取りそろえており、パソコンも設置しています。授業の予習・復習、レポートの作成や試験のための利用はもちろんのこと、本学のラーニング・コモンズの一端を担う学習支援のためのラウンジや、セミナー室・研究個室もあり、友達同士やグループでの学習や討議、プレゼンテーションの練習などにも大いに活用してください。





## 保健管理センター

学生生活を心身ともに健康に過ごせるようお手伝いすることが、保健管理センターの主な役割です。当センターでは、応急処置や医療機関の紹介、受診のお手伝いを行っています。また、交友・勉学・寄宿舎・サークルなどの様々な悩みについてカウンセリングを行っています。一人で悩んでいても、良い解決方法は見つかりません。気軽に相談してください。

## その他の施設



### 実習工場

実習工場には主要な工作機械があり、機械工学専攻の学生は、ここで実際に機械加工の学習をします。卒業研究遂行のための実験装置を製作する学生もいます。



### デザイン工房

デザイン工房には、各種工作機械があり、立体造形やプロダクトデザイン、工芸分野の演習で使用します。学生は作品制作を通して造形素材に知識と加工技術を習得します。



### 体育館

体育館内には、アリーナ・武道場・ボールドリングウォール・トレーニング室・更衣室・シャワー室があります。



### OnOffラウンジ

旧食堂をPBL型授業を通じて刷新しました。On(学び)とOff(交流)が融合する創造的コミュニティ空間です。教職員・学生が自由に使えます。

## Event Schedule

### イベントスケジュール

- 4月 入学式  
新生生オリエンテーション等  
第1学期授業開始
- 5月 学生定期健康診断
- 6月 授業見学会(春季)
- 7月 第1学期授業終了
- 8月 第1学期期末試験  
フィードバック期間  
オープンキャンパス  
夏季休業(8月中旬～)  
アウトドアスポーツ(集中授業)
- 9月 異文化コミュニケーション  
A・F(韓国)(集中授業)  
夏季休業(～9月下旬)

- 10月 第2学期授業開始  
授業見学会(秋季)
- 11月
- 12月 冬季休業(12月下旬～)
- 1月 冬季休業(～1月上旬)  
授業見学会(冬季)  
第2学期授業終了
- 2月 第2学期期末試験  
フィードバック期間  
春季休業(2月中旬～)  
スノースポーツ(新潟)(集中授業)
- 3月 異文化コミュニケーションB・G  
(米国)(集中授業)  
学位記授与式  
春季休業(～4月上旬)



アウトドアスポーツ



スノースポーツ



ランチトーク

# Campus Life

## 私の学生生活

### Students Voice

#### 学生の声

総合デザイン学科支援技術学コース  
アクセシブルデザイン学領域3年

藤原 心華さん

秋田県立聴覚支援学校 出身



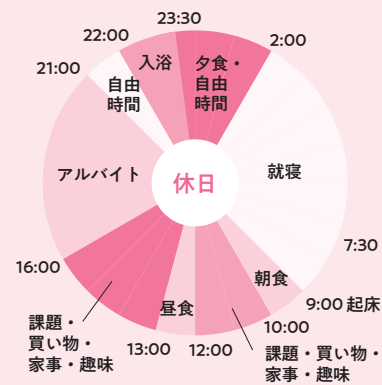
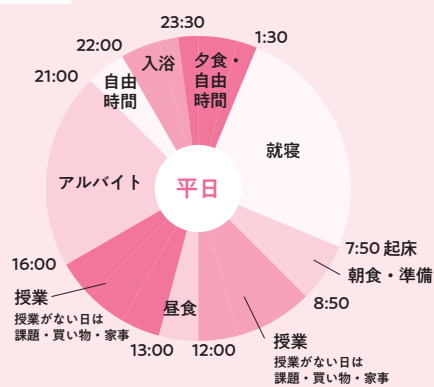
私は東北地方出身で、1年生のころからユニット形式の寄宿舎で生活しています。寄宿舎には、個室と共用の補食室（キッチンや電子レンジ等）があるA～D棟と、部屋にキッチンが付いているE棟があります。また、大浴場があり、学年を超えて交流が生まれる、昔の銭湯のような温かな場所です。私にとってもお気に入りの空間の1つです。

入学当初は、地元を離れ、知り合いのいない環境で家事をこなしながらの生活に不安もあり

ました。聾学校でも寄宿舎経験はありましたが、「地元ではない」場所での共同生活は違い、ホームシックにもなりました。それでも仲間と関わる中で安心して暮らせるようになり、家族のありがたさや、生活と他の活動を両立する大変さ、工夫の必要性を学びました。

私は学業に加えアルバイトやサークル活動などにも取り組んでいます。1・2年生のころは飲食店のみでしたが、3年生になり授業が減ったことで時間に余裕ができ、現在は学内外でアルバ

#### 私の一日



### 学生寄宿舎

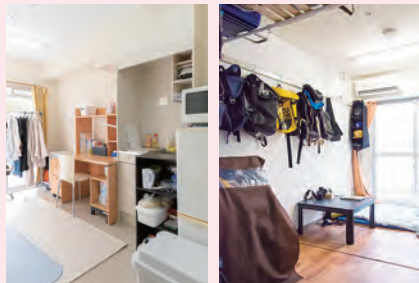


イトを掛け持ちしています。学業や就職活動と並行するため、時間管理や体調管理の重要性を実感しています。

学業面では、当事者視点の大切さを学びつつ、仲間とグループワークやディスカッション、プレゼンなどを通して課題解決プロセスを学んでいます。

ダンスサークルでは学園祭に向けて仲間と練習を重ね、最高のステージを作る達成感を得ました。さらに、2025年度は寄宿舎連絡委員長として、生活環境をより良くするためにメンバーと相談を重ねながら活動しています。組織として動く難しさや、共同生活では互いを思いやる姿勢が大切であることも学びました。

大学周辺には手頃でおいしい飲食店やカフェが多く、東京にも1時間で行けるため休日は気軽に出かけられます。長期休みは1か月ほどあり、旅行で新しい経験を積むこともできます。卒業生とのつながりも強く、時間が合えば食事に行ったり相談に乗っていただいたりと、縁が広がるのも魅力です。



ユニットタイプのA~D棟では、5~6室の個室がまとまって共同生活の単位である「ユニット」を構成しています。各ユニットには、簡単な自炊ができるダイニングキッチン(補食室)があり、ロッカー、IH調理器、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機と乾燥機が設置されています。

居室内にミニキッチンを備えたタイプのE棟(女子専用棟)では、同フロアに12室の個室があります。各フロアには、共用の談話コーナー、洗面洗濯室、トイレ等が設置されています。部屋面積は約5畳半で、居室内に冷蔵庫、電子レンジがある他、本棚付学習机や椅子も設置されています。

## City Map 大学周辺マップ



### 周辺環境

- |               |                |               |
|---------------|----------------|---------------|
| ■ 食堂・スーパー     | ■ 医療施設         | ■ 学び          |
| 食堂(定食・ファミレス等) | ① 東西医学統合医療センター | ① 筑波実験植物園     |
| スーパー・薬局       | ② 筑波大学附属病院     | ② つくばエキスポセンター |
| ■ コンビニ・ATM    | ③ 筑波メディカルセンター  | ③ 図書館・美術館     |
| セブンイレブン       | ④ つくば医療ビレッジ    | ④ コンサートホール    |
| ファミリーマート      | ■ 郵便局          | ■ 交通          |
| ローソン          | 筑波大学内郵便局       | ペDESTリアンデッキ   |
| ミニストップ        | 筑波学園郵便局        | 音響付信号機        |
|               |                | 大学近隣バス停       |

2024年3月現在

### 就職支援体制

就職ガイダンス・セミナー・講演会等(年間10回以上)を企画・実施し、学生の就職支援活動を行っています。

また、就職活動に関連するコミュニケーションの個別指導を年間を通じて実施しています。

さらに教育面からの就職支援として、キャリア教育科目の中で、キャリア発達を促すための授業を行っています。3年次のインターンシップ(職場実習)では、将来に備えた指導的な技術者としての素養と実践的な技術的感覚の体得をめざしています。

就職資料室(学生会館1F)には、各企業等からの求人票や企業案内の冊子等が備えてあり閲覧できるようになっています。

### 就職セミナー

#### [インターンシップ説明会]



学生の採用を検討している企業をお招きし、インターンシップや選考にかかる説明をいただくインターンシップ説明会を実施しています。毎年10社以上の企業に参加いただいております。各企業ごとに会社概要・インターンシップ・選考に関する説明を聞けるほか、人事担当者や実際に働いている卒業生に直接質問をすることもできます。

### 大学等を卒業した聴覚障害者の就労に関する産学官連携シンポジウム



大学等を卒業した聴覚障害者の就労上の課題とその対処について情報提供を行うことを目的としたシンポジウムを毎年実施しています。

2025年度は「聴覚障害社員の多様な働き方の実際～オフィスとリモート、それぞれの『働きやすさ』とは～」をテーマとし、東京労働局や企業のダイバーシティ・人事担当者を講師としてお招きし開催しました。

### キャリアサポーター

キャリア支援の充実を目的としてキャリアサポーターを設置し、就職活動中の学生や就職活動を控えた学生に対する面接指導、履歴書添削等の個別相談を行っています。また、キャリアサポーターを講師として、会話・メールのマナー講座や進路がまだ決まっていない低学年の学生に対するキャリアガイダンスも実施しています。

#### ◎学内会社説明会等

学内で申込のあった企業等の説明会を随時実施しています。企業の採用担当者から最新の情報を入手するとともに就職への大きな一歩となることが期待されます。また「企業向け大学説明会」や「就労に関するシンポジウム」を開催し、企業とのつながりを強めています。

#### ◎教職課程について

一般の企業等だけでなく、本学での学修を経て教員免許を取得し、教職の道を歩む卒業生も輩出しています。詳しくは、16～17ページをご覧ください。

#### ◎学校推薦、大学紹介について

学校推薦とは、企業と大学との信頼関係に基づき一定の採用枠を設けるものです。企業により推薦の取り扱い様々は様々で、選考の過程が一部免除される場合や、ほぼ内定を出す場合などがあります。大学紹介とは、就職担当者が学生と面談を行い、本人の希望や適性にあった企業を紹介する方法です。本学は、多くの企業から推薦や紹介の依頼をいただいております。本学のシンポジウムに参加するなど聴覚障害者の採用に前向きな企業を学生に紹介しています。約半数の学生が学校推薦・大学紹介を受けて就職しています。

## 2025年度就職講座等の実施状況

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>5月</b> ● 第1回合同企業説明会</p> <p><b>6月</b> ● 第1回インターンシップ説明会</p> <p><b>7月</b> ● 第2回インターンシップ説明会<br/>● 第2回合同企業説明会</p> <p><b>9月</b> ● 卒業生講演会</p> <p><b>10月</b> ● 第3・4回合同企業説明会<br/>● SPI模擬試験</p> | <p><b>11月</b> ● エントリーシート添削<br/>● 就職講演会</p> <p><b>12月</b> ● 公務員試験対策模試<br/>● 模擬面接講習会</p> <p><b>1月</b> ● 卒業生講演会</p> <p><b>2月</b> ● 第5回合同企業説明会</p> |
|---|--|

## 就職活動準備講座 [基礎編・実践編]



就職活動で求められる「自己PR」や「志望動機」への対策として、就職活動準備講座を実施しています。基礎編では、企業・仕事研究の方法や自己PR・志望動機の作成方法を学びます。実践編では実際に自己PRを作成し、学生同士で発表し合うことにより、採用側・学生側双方の視点で理解を深めることができます。

## 模擬面接講習会



模擬面接講演会では、選抜された代表学生が登壇し、本番同様の模擬面接を行います。就職活動を目前に控えた時期に、志望動機の作成方法や企業研究のポイントについて再確認することができるため、代表学生だけでなく、客席で観覧している学生にとっても有意義な講演会です。

## 大学院進学について

天久保キャンパスには、学部教育との連続性を持たせたより高度な知識等の修得が可能な「産業技術学専攻」と、社会において障害者支援の中核的な役割を担う高度専門職業人および情報保障の研究者を養成する「情報アクセシビリティ専攻」の2つの専攻による修士課程があり、自身の障害に対する理解を深めつつ、学部で学んだ知識、技能を活かし、さらなる研究を推し進めることが可能です。

専攻	入学定員	コース	取得できる学位
産業技術学専攻	4名	産業情報学コース	修士(工学)
		総合デザイン学コース	修士(デザイン学)
保健科学専攻(※)	3名	鍼灸学コース	修士(鍼灸学)
		理学療法学コース	修士(理学療法学)
		情報システム学コース	修士(工学)
情報アクセシビリティ専攻	5名	障害者支援(聴覚障害)コース	修士(情報保障学)
		障害者支援(視覚障害)コース	修士(情報保障学)
		手話教育コース	修士(情報保障学)

※保健科学専攻は、視覚障害がある方が対象です。

## 卒業生の進路

	情報科学コース		建築学コース		先端機械工学コース		クリエイティブデザイン学コース		支援技術学コース		大学院技術科学研究科	
	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数
二〇一五年度	株式会社ミットヨ	1	株式会社LIXIL	2	株式会社廣澤精機製作所	1	持田製薬株式会社	1	東京都立中央ろう学校	1	株式会社Oriai	1
	株式会社NTT データMSE	3	ボラスシェアード株式会社	1	SUBARUテクノ株式会社	1	スカイマーク株式会社	1	株式会社商工組合中央金庫	1	ファーストアカウンティング	1
	株式会社インテック	1	三機工業株式会社	1	筑波技術大学大学院(進学)	1	上越教育大学 専門職学位課程(進学)	1	アイシン・ソフトウェア株式会社	1	株式会社	1
	シャープマーケティングジャパン株式会社	1	東急建設株式会社	1			川村義肢株式会社	1	川村義肢株式会社	1	千葉大学大学院(進学)	1
	株式会社qia	1	山九株式会社	1			株式会社ヤマガタ	1	株式会社ヤマガタ	1		
	NTTドコモビジネスエンジニアリング株式会社	1	高砂熱学工業株式会社	1			株式会社LIXIL	1	株式会社LIXIL	1		
	株式会社北陸マツダ	1	筑波技術大学大学院(進学)	1			トランスコスモス株式会社	1	株式会社朝日新聞社	1		
	株式会社博報堂DYアイ・オー	1					ANAウィングフェローズ・ヴィ王子株式会社	1				
	筑波技術大学大学院(進学)	3					兵庫教育大学大学院(進学)	1				
							東京学芸大学大学院(進学)	1				
						筑波技術大学大学院(進学)	1					
二〇一四年度	株式会社様音原	1	広島県庁	1	キャンピズアテンダ株式会社	1	持田製薬株式会社	1	東京地下鉄株式会社	1	日鉄鉱業株式会社	1
	株式会社ウルオプ・チャレンジ	1	NTTファシリティーズ	1	株式会社デンソー	1	セントラル警備保障株式会社	1	ソフトバンク株式会社	1	筑波技術大学	1
	株式会社NTT データMSE	2	生和コーポレーション株式会社	1	渋谷区図書館職員	1	岩谷産業株式会社	1	株式会社メッツ	1		
	トランスコスモス株式会社	1	カシワバラコーポレーション	1			トランスコスモス株式会社	1	株式会社湘南ジャーナル	1		
	株式会社LIXIL	1	巴コーポレーション	1			埼玉精神神経センター	1	トランスコスモス株式会社	1		
	株式会社ドコモCS	1	筑波技術大学大学院(進学)	1					株式会社JTB データサービス	1		
	株式会社日比谷コンピュータシステム	1							筑波技術大学大学院(進学)	1		
	筑波技術大学大学院(進学)	2							東京学芸大学大学院(進学)	1		
	東京学芸大学大学院(進学)	2										
二〇一三年度	高砂熱学工業株式会社	1	横浜市役所	1	YKK株式会社	1	JTB データサービス	1	ブルームヒアリング株式会社	1	株式会社インテック	1
	株式会社Fusic	1	宇都宮市役所	1	ソフトバンク株式会社	1	博報堂DYアイ・オー	1	株式会社アドバンスメディア	1	株式会社ヤング・コミュニケーション	1
	株式会社LIXIL	1	戸田建設株式会社	1	キャン化成株式会社	1	株式会社毎日新聞社	1	トランスコスモス株式会社	1		
	株式会社JALサンライト	1	株式会社LIXIL	2			トランスコスモス株式会社	2	瀬戸信用金庫	1		
	ソフトバンク株式会社	1	株式会社タカラレーベン	1			株式会社JTB	3	株式会社NTT データMSE	1		
	株式会社NTT データMSE	1	株式会社NTT データMSE	1			持田製薬株式会社	1	株式会社LIXIL	1		
	株式会社マイナビEdge	1	TBCグループ株式会社	1			日立ハイテック	1	宇都宮市役所	1		
	インテック株式会社	1	筑波技術大学大学院(進学)	1			TBCグループ株式会社	1				
	日本ビジネスシステムズ株式会社	1										
	住友金属鉱山株式会社	1										
筑波技術大学大学院(進学)	1											

	産業情報学科情報科学専攻		産業情報学科システム工学専攻		総合デザイン学科		大学院技術科学研究科産業技術学専攻	
	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数
二〇一三年度	JTBグループ	1	株式会社LIXIL	1	株式会社NTT データMSE	1	住友金属鉱山株式会社	1
	SOLIZE株式会社	1	株式会社巴コーポレーション	2	株式会社LIXIL	2	群馬県特別支援学校教員	1
	株式会社C4C	1	戸田建設株式会社	1	株式会社TBS ACT	1	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ関西	1
	株式会社LIXIL	1	メトロ設計株式会社	1	株式会社オカムラ	1	明晴学園	1
	株式会社インテック	2	保川建設株式会社	1	株式会社大和ハウス工業	1		
	トーヨーカネツ株式会社	1	筑波技術大学大学院(進学)	1	静岡県静岡中央高等学校	1		
	博報堂DYアイ・オー	1			商工組合中央金庫	1		
	菱信データ株式会社	1			ナンバーワンソリューションズ	1		
	株式会社NTT データMSE	2			株式会社JTB	1		
	三菱電機エンジニアリング株式会社	1			株式会社ブルボン	1		
朝日新聞株式会社	1			株式会社日立ハイテック	1			
長岡京市役所	1			株式会社博報堂プロダクツ	1			
二〇一二年度	株式会社IH エスキューブ	1	三菱電機エンジニアリング株式会社	1	株式会社オカムラ	1	株式会社インテック	1
	東日本旅客鉄道株式会社	2	株式会社本田技術研究所	1	株式会社NTT データMSE	1	町田市役所	1
	株式会社NTT データMSE	4	住友金属鉱山株式会社	1	株式会社代々木アニメーション学院	2		
	TOTO/バスクリエイト株式会社	1	株式会社フジタ	1	パーソルチャレンジ株式会社	1		
	オムロン株式会社	1	日軽エンジニアリング株式会社	1	筑波技術大学大学院(進学)	1		
	株式会社JTB	1						
	株式会社ドコモCS	1						
	トランスコスモス株式会社	1						
	株式会社インテック	1						
	株式会社リクルートオフィスサポート	1						
高知県庁	1							
日本電算企画株式会社	1							
二〇一〇年度	東芝インフラシステムズ株式会社	1	株式会社本田技術研究所 和光研究所	1	大和ハウス工業株式会社	1		
	日本電算企画株式会社	1	京三電機株式会社	1	プラス株式会社	1		
	栃木県庁	1	三菱電機エンジニアリング株式会社 神戸事業所	1	持田製薬株式会社	1		
	中電ウイング株式会社	1	株式会社LIXIL	1	KDDIエボルバ株式会社	1		
	茨城県学校事務	1	コーナン建設株式会社	1	サイボウズ株式会社	1		
	株式会社インテック	2	三機工業株式会社	1	株式会社オカムラ	1		
	持田製薬株式会社	1	YKKAP株式会社	1	楽天ソリューションズ株式会社	1		
	船橋市役所	1	株式会社オカムラ	2				
	株式会社NTT データMSE	1	三和シャッター工業株式会社 関西支社	1				
	バナソニック吉備株式会社	1						
トークシステム株式会社	1							
二〇一九年度	ジェイアール東海情報システム株式会社	1	株式会社朝日新聞社	1	株式会社オカムラ	1		
	株式会社 システムデザイン	1	オムロンヘルスケア株式会社	1	元気寿司株式会社	1		
	シャープ株式会社	1	株式会社ケーヒン	1	東京セキスイハイム株式会社	1		
	株式会社デンソー	1	株式会社構造計画研究所	1	株式会社ドコモCS	1		
	トランスコスモス株式会社	2	三機工業株式会社	1	トランスコスモス株式会社	3		
	株式会社日立産業制御ソリューションズ	1	戸田建設株式会社	1	不二ライトメタル株式会社	1		
	株式会社日立ソリューションズ東日本	1	日軽パネルシステム株式会社	1	プラス株式会社	1		
	福岡市役所	1	株式会社日本経済新聞社	1	持田製薬株式会社	1		
	株式会社富士通ソリューションズ東日本	1	東日本旅客鉄道株式会社	1	筑波技術大学大学院(進学)	1		
	マレリ株式会社	1	三菱ケミカル株式会社	1				
箕面市役所	1	株式会社LIXIL	1					
理想科学工業株式会社	1	上越教育大学大学院(進学)	1					
菱信データ株式会社	2							

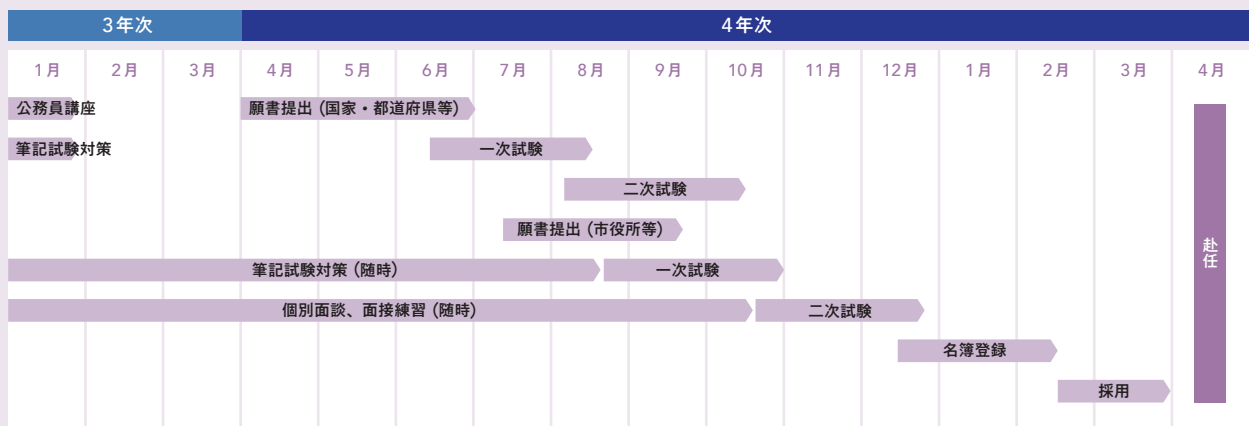
(※社名等は当時の表記)

# 就職活動について

## 企業の例



## 公務員の例



## Message

### メッセージ

岡山県 保健福祉部障害福祉課

真島 大輔さん

産業情報学科システム工学専攻

[2014年度卒]



### 経験を積んで力を身に付けよう

私は現在、岡山県庁内にある保健福祉部障害福祉課で勤務しており、主に心身障害者扶養共済制度や手話通訳・要約筆記者の養成と派遣、聴覚障害者の相談業務を行う聴覚障害者センターに関する委託業務を担当しています。自身の障害に関わる業務に携わることで、これまで知らなかった聴覚障害者への支援や情報提供について、業務を通じて知識を深めています。

公務員は安定していて定時に帰れるというイメージが大きいと思いますが、必ずしもそうではありません。確かに入庁後に配属された部署では、仕事が少なく、定時に帰ることができていましたが、現在勤務している障害福祉課は、多忙で業務量が多く残業もしばしばあります。しかし、その反面やりがいがあって楽しく仕事に励んでいます。責任の重い仕事を任せられることもありますが、ミス無く事務処理をしっかりとこなせるように日々精進しています。

大学では建築工学を専攻しており、現在の仕事と直接関わりはありません。しかし、大学の講義やレポート作成のために身に付いたPCスキルと考察力は、職場での資料作成等に活きており、上司や先輩のアドバイスを受けながら現在も事務作業に必要な知識を吸収しています。また、大学の講義やアルバイト等といった学生生活で身に付いたコミュニケーションスキルについても、職場において、上司や先輩、同期との会話は口話で行い、電話応対は筆談してもらうなど、大学で学んだことや経験は、今の私の力となっています。

大学で身に付けたスキルは、卒業後、必ず仕事や日常生活で活かされます。日々の学生生活で様々な経験を積んで社会生活に必要なスキルを身に付け、自身の力にしてほしいと思います。



株式会社ラズ・  
ダイナモデザイン  
(フリーランス)

岩田 直樹さん

Naoki Iwata

総合デザイン学科  
視覚伝達デザイン学領域  
[2017年度卒業]

## デザイン、チャンス、行動

私は現在、ロゴやチラシなどの広告制作からゲストハウス運営、謎解きゲーム運営まで一言では表せないほど様々な事業をやっている、茨城県内にある株式会社ラズでグラフィックデザイナーとして勤務しています。そして、会社での勤務だけではなくフリーランスのグラフィックデザイナーとして、「ダイナモデザイン」という屋号で個人での活動もしております。つまり、パラレルワーク(複業)という働き方で生活しております。

どちらもグラフィックデザインの仕事であり、内容に大きな違いはありませんが、デザインするときは、まずユーザーを知り、そしてその人の気持ちやデザインされたものを公開されたときを想像し、どうすれば今より良くなるかを考えながら、わかりやすさと印象の残しやすさを両立したデザインをめざしています。もちろん、デザインの仕事にはコミュニケーションが欠かせません。耳が聞こえない分、自分の言いたいことをどれだけわかりやすく伝えられるか、相手の言いたい事の本質を見極められるかどうかが毎回考えさせられます。

また、学生から実行委員として参加し続けている「つくばクラフトピアフェスト」という毎年夏頃につくば駅前で開催されているクラフトビールの祭りでもデザイナーとして関わっております。そこで学生の時から現場に出てデザインの仕事の経験を積みました。社会人になってもすぐに即戦力になれたため、僕の中では大きな糧となりました。

もし、デザイナーとして活躍したいのであれば、学生のうちにデザインの経験を積んだり、人脈を広げたり、刺激となる何かに挑戦することが大事になると思います。周りには意外とチャンスがたくさん転がっているので、ぜひ行動を起こしてチャンスを掴み取って自分の人生を楽しんでください！

## 卒業生インタビュー 私は現在…

Just go with the flow and everything will be OK.

みなさん、こんにちは。私は現在、本田技術研究所に勤めています。その中で様々な開発における試作機の製作を担う部署に配属され、主に板金加工の担当として元気に業務を推進しています。板金加工とは、その名の通り板状の金属を図面通りに切断して、圧力を加えて折り曲げたり、溶接を行う加工技術です。大学では図面設計をはじめ、溶接や機械加工、評価試験について学びましたが、その経験が現在の業務に役に立っていると思っています。自部署では障がいに対する理解があり、ボトムアップのアプローチで障がい者が働きやすい環境を整えることができる職場であると思います。今後は、聴覚障がいをハンディキャップとせず、失敗を恐れず、積極的に業務に取り組みたいと思います。

学生は勉強が本業ですが、スポーツやアルバイト、ボランティア活動など、人との関わりがある場に積極的に参加してほしいと思います。学生生活は長いようで短いものですので、より充実した時間を過ごしてほしいと願っています。

技大に入学する前は、大学で物理を専攻したいと漠然と思っていました。高校3年生の10月に聴覚障がいのための大学を見つけ、どのような教育が行われているのか、聞こえない世界に興味を持ち、手話や情報保障に関する知識が全くない状態で入学を決意しました。ふと振り返ると、技大で過ごした4年間は私にとって、聞こえない世界を理解する貴重な時間だったように思います。

技大進学に迷いや不安を抱えている方は、その迷いを持ったまま進学してみても良いでしょう。技大はたくさんの選択肢と思いがけない出会いが待っている場所です。どこかであなたなりの道が見つかる、面白い環境かもしれません。

「Just go with the flow and everything will be OK. (ただ流れに身を任せていれば大丈夫ですよ)」



株式会社本田技術研究所  
(和光研究所)  
統括機能センター試作室  
埼玉試作BL

土橋 大幹さん

Daiki Tsuchihashi

産業情報学科  
システム工学専攻  
[2021年度卒業]

## 好奇心を武器に、未知の領域へ踏み出そう

私は現在、株式会社JTBのWeb販売事業部ホームページ戦略部に所属しています。その中のUI/UX課でフロントエンドエンジニアとして勤務しています。当課は、公式サイトUI (User Interface) やUX (User Experience) を改善するだけでなく、表現や体験の実現に向けた提案・改善を担う部署です。そのため課内で完結する業務だけでなく、他部門と連携し、お客様に最適な体験を提供しています。

私の担当業務は、フロントエンド開発やマークアップ開発、ABテストの要件定義と実行、データ分析、プロジェクトでのディレクション兼務など多岐にわたり、サイトのアジャイルな改善を進めています。大学で専攻していた情報科学の基盤は、現在の業務に直結するだけでなく、実務経験や新しい知識と結びつき、成果を生み出す力になっています。また、自分が手がけたものがサイトに反映され、それをお客様に使っていただけることに大きなやりがいを感じています。

JTBにはろう社員が多数いますが、エンジニアとして働いているのは私だけです。そのため、コミュニケーションで難しい場面もありますが、チャットツールやビジュアルコミュニケーションを活用し、必要な情報を的確に共有する工夫を重ねています。この経験を通じて、環境に左右されず成果を出せる力を身につけてきたと実感しています。また、難しいような案件でも「面白そうだからやってみよう」という好奇心を大切に、失敗を恐れずチャレンジを続けてきた結果、上司や同僚から信頼を得られ、難しい仕事も任されるようになりました。

大学での経験は、社会人になった後も自分を支える大きな力になります。好奇心を持ち、未知のことに挑戦することで、新たな道が開けるはずです。自分の可能性を信じ、未来への一歩を踏み出してください。



株式会社JTB  
Web販売事業部 ホームページ  
戦略部 UI/UX課

大石 周さん

Meguru Oishi

産業情報学科  
情報科学専攻

[2021年度卒業]

## OG/OB Interview

## 思い描いた人生を歩むために、試行錯誤し続ける

私は現在、戸田建設株式会社の生産設計部で働いています。当社は総合建設企業として、オフィスビルや商業施設、病院、学校といった大規模施設の建設工事から、都市開発、さらに再生可能エネルギーの開発など様々な事業に取り組んでいます。生産設計部では「設計図」を基に実際の施工に必要な寸法などの情報が描かれた「施工図」と外装材や建具等の工場で製作する製品を記した「製作図」をまとめる仕事をします。私は都心の再開発事業に携わり、建物の骨格となる鉄骨製作図の管理や鉄骨製作・建方上の課題解決を担当しています。建物の骨組みだけを考えるのではなく、それらに付随する防水・断熱・耐火・構造上の荷重等を考慮する必要があり、より広範な知識が求められます。図面をまとめていく中で、施工できない箇所があったり、設計変更で大幅な変更が生じたり、イレギュラーが発生した時は協業者と検討・協議を行い、解決に導きます。建設工事の中で重要な工程となるため、設計・現場・鉄骨製作会社とタイムリーかつ密なコミュニケーションを図ることを心がけています。

齟齬を起こさないコミュニケーションを図るために、当社のウェルネス&ダイバーシティ推進部と連携し、音声認識システムを導入したり、協業者に協力をお願いして、図面に直接記入してもらったりして認識をすり合わせています。そのような取り組みを進め、聞こえる人たちが議事録ツールとして有効に活用してもらえるように推進しています。

様々な仕事に取り組む中で、自分の能力を超えた難しい仕事に携わることがあります。力不足を感じることも連続ですが、自分の仕事に責任を持って向き合い、「より良くするためには？」と疑問を持ち、建築専門書を読んだり、先輩社員に質問したりして学びを深めています。そして、学んだことを基に提案や協議を行い、それを繰り返していくことで自身の成長に繋げています。このように学びを深めたり、実践したりする姿勢は在学中に建築を志し、自分の興味がある分野を講義や研究を通して試行錯誤しながら、コツコツと掘り下げていった経験が土台になっています。今思えば、興味を深掘りしていく中で沢山の出会い、彼らの考え方やその背景に触れ、常に自分をアップデートできる幸せな学生生活でした。

最後に持論ですが、大学生活に関わらず、自分の興味ある分野や目標を意識し始めた瞬間から世界は広がると考えています。その世界へ一歩踏み出した結果や経験がどうであれ、その受け止め次第で、自分が見える世界や思い描く未来が変わってくるのではないのでしょうか？ 皆さんが充実した学生生活を過ごし、思い描いた未来へ歩めるよう応援しています。



戸田建設株式会社 東京支店  
建築工事生産設計部  
生産設計4課

西野 弘二さん

Koji Nishino  
(一級建築士)

産業情報学科  
システム工学専攻 建築工学領域  
[2019年度卒業]

# 入学に関するお知らせ

2026年度に実施する産業技術学部入学選抜の詳細は、9月に公表予定の「令和9年度学生募集要項」をご覧ください。

入学資格	<p>産業技術学部へ入学できる者は、大学入学資格を有する者（特別支援学校高等部や高等学校を卒業した者等）で、両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上<sup>*</sup>のもの又は補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能若しくは著しく困難な程度のものとなっています。</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">※裸耳（補聴器を外した状態又は他は人工内耳のスイッチをオフにした状態）での聴力レベル</p>
------	---

## 入学選抜の方法

産業技術学部の入学者の選抜は、次の5つの方法で行います。

### 1. 学校推薦型選抜

	産業情報学科	総合デザイン学科
募集人員	16名	7名
対象	高校卒業見込みの者、専攻科修了見込みの者（注1） ※学校長の推薦が必要 高校卒業後1年以内の者、専攻科修了後1年以内の者	
試験日	2026年11月21日	
試験内容	書類審査／小論文／面接	
	適性検査 （文章・図形・数式などの理解力と数学的及び論理的な思考力） ※数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A相当	実技検査 （技術力、プレゼンカ、創作意欲、独創性等）

### 2. 社会人選抜

	産業情報学科	総合デザイン学科
募集人員	若干名	若干名
対象	入学時20歳以上の者	
試験日	2026年11月21日	
試験内容	書類審査／小論文／面接	
	適性検査 （文章・図形・数式などの理解力と数学的及び論理的な思考力） ※数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A相当	実技検査 （技術力、プレゼンカ、創作意欲、独創性等）

### 3. 総合型選抜

	産業情報学科	総合デザイン学科
募集人員	若干名	若干名
対象	高校卒業見込みの者、専攻科修了見込みの者、既卒者等	
試験日	2026年12月19日、2027年1月23日	
試験内容	書類審査／小論文／プレゼンテーション／面接	

### 4. 編入学（2年次・3年次）

	産業情報学科	総合デザイン学科
募集人員	若干名	若干名
対象	<b>[2年次]</b> 大学を卒業した者又は大学に1年以上在学し31単位以上修得し退学した者および退学見込みの者又は短大・特別支援学校専攻科等を卒業（修了）した者および卒業（修了）見込みの者  <b>[3年次]</b> 大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し62単位以上修得し退学した者および退学見込みの者又は短大・特別支援学校専攻科等を卒業（修了）した者および卒業（修了）見込みの者	
試験日	2026年9月5日、2027年1月23日	
試験内容	書類審査／小論文	
	口頭試問	プレゼンテーション

### 5. 一般選抜（前期日程）

	産業情報学科	総合デザイン学科
募集人員	16名（注2）	6名
対象	高校卒業見込みの者、専攻科修了見込みの者、既卒者等	
試験日	2027年2月25日	
試験内容	書類審査／面接／大学入学共通テスト指定教科から2科目	
	選択科目 ・数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A） ・総合問題	総合問題

（注1）学校推薦型選抜における「高等学校」及び「専攻科」は次のとおりです。  
 高等学校：特別支援学校の高等部本科又は高等学校（中等教育学校を含む。）  
 専攻科：特別支援学校又は高等学校の専攻科

（注2）産業情報学科における一般選抜（前期日程）は、複数の学科、複数の科目を同時に受験することができます。

## 大学入学共通テスト

産業技術学部では、大学入学共通テストのうち以下の教科・科目を利用します。必要とする教科・科目数を超えて受験している場合は、得点の高い科目を利用します。

### 産業情報学科【計2教科2科目】

教科	
国語	「国語(近代以降の文章)」【必須】
数学	「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ、数学B、数学C」
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」「物理」
外国語	「英語」
情報	「情報Ⅰ」

から1科目

### 総合デザイン学科【計2教科2科目】

教科	
国語	「国語(近代以降の文章)」【必須】
地理歴史	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」
	「歴史総合、世界史探究」
公民	「公共、倫理」「公共、政治・経済」「地理総合/歴史総合/公共」
数学	「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ、数学B、数学C」
理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」
	「物理」「化学」「生物」「地学」
外国語	「英語」
情報	「情報Ⅰ」

から1科目

# 学費・奨学金などのご案内 ※2025年度入学者

## 入学定員・取得可能な学位

	入学定員	学位
産業情報学科	32人	学士 (工学)
総合デザイン学科	13人	学士 (デザイン学)

## 入学料・授業料

入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

●**入学料**  
282,000円(入学手続き時に納入)

●**授業料**  
前期分 267,900円(5月に納入)  
後期分 267,900円(11月に納入)  
(年額 535,800円)

## 入学料・授業料免除制度

本学は、2020年度開始の国の「高等教育の修学支援制度」対象校に認定されています。(制度の詳細は右QRコードから)

これとは別に、本学では下表の入学料・授業料免除制度を実施しています。なお、経済的困難のある方は、本学の免除制度と国の「高等教育の修学支援制度」を両方併せて受給申し込いただけます。また、家計急変で急に支援が必要になった際も、本学は機動的にお支える仕組みがあります。

■ 文部科学省 修学支援制度特設ページ  
<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>



免除の種類	免除メニュー	選考基準	免除額	備考
入学料免除		<input type="checkbox"/> 所得基準・資産基準を満たすこと <input type="checkbox"/> 家計急変のために緊急に支援する必要があると認められること	全額または半額	
授業料免除	経済的理由	<input type="checkbox"/> 所得基準・資産基準・学業成績基準を満たすこと	全額または半額または一部	
	災害等による家計急変	<input type="checkbox"/> 家計急変のために緊急に支援する必要があると認められること <input type="checkbox"/> 資産基準を満たすこと	全額または半額または一部	家計急変があった場合、申請期限等に関わらず、随時申請可能
	社会人	<input type="checkbox"/> 本学の社会人入学者選抜で入学した者等	半額または一部	
	私費外国人留学生	<input type="checkbox"/> 「留学」の在留資格を有する者 <input type="checkbox"/> 学業成績基準を満たすこと	全額または半額または一部	
	学修意欲	<input type="checkbox"/> 修得単位基準を満たすこと	一部(最大1割)	学部生のみ対象 他の免除と併用不可
	表彰された場合	<input type="checkbox"/> 表彰された場合	全額	

※上記の免除制度以外にも、入学料・授業料の徴収猶予制度や、授業料の月割分納制度もあります。  
 ※大学院生・私費外国人留学生は国の「高等教育の修学支援制度」の対象外ですので、ご注意ください。  
 ※予算や申請状況によっては、申請し基準に該当しても、免除等にならない可能性があります。ご了承ください。

## 奨学金

経済的な理由等で修学が困難な学生に対しては、各種の奨学金制度があります。

### 日本学生支援機構奨学金

優秀な学生で、経済的理由により修学が困難な場合には、日本学生支援機構の選考により奨学金が給付または貸与されます。奨学金は、給付奨学金、第一種貸与奨学金(無利子)、第二種貸与奨学金(有利子)があります。給付奨学金は、国の「高等教育の修学支援制度」による奨学金です。各奨学金の詳細は下のQRコードからご確認ください。

■ 日本学生支援機構 (JASSO)  
給付奨学金のページ  
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>



■ 日本学生支援機構 (JASSO)  
貸与奨学金のページ  
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html>



### その他の奨学金

地方公共団体、各種法人等が募集する奨学制度があり、内容は、団体等によって異なります。

## その他

### 学生教育研究災害傷害保険等

授業中や課外活動中の事故に対して補償する「学生教育研究災害傷害保険」と授業中や課外活動中のみならず、インターンシップ(企業実習等)等で起こった学生の賠償事故(他人にけがをさせたり、財物を破損させたりした事故)について補償する「学研災付帯賠償責任保険」があります。本学ではこの保険制度に賛同し、基本部分については大学が負担し、特約及び付帯賠償については、入学時に全員が加入するよう勧めています。

### 寄宿舎関係経費 2025年度

	A~D棟	E棟
寄宿料	5,000円/月	6,500円/月
共益費	12,000円/月	11,000円/月
居室電気料	実費	

# OPEN CAMPUS 2026

筑波技術大学産業技術学部  
オープンキャンパス

## 春のオープンキャンパス 6.7 [日]

10:00-16:00  
筑波技術大学天久保キャンパス

### オンラインオープンキャンパス with 編入学セッション

第1回 <b>5.10</b> [日]	第2回 <b>8.8</b> [土]	春季 <b>6.8</b> [月]	秋季 <b>10.23</b> [金]
13:30-16:00 オンライン		春季 10:00-13:00 秋季 13:00-16:00 筑波技術大学天久保キャンパス	

### オープンキャンパスイベント

**8.7** [金]  
13:30-16:00  
筑波技術大学天久保キャンパス

### 夏のオープンキャンパス

**8.8** [土]  
10:00-16:00  
筑波技術大学天久保キャンパス(一部ハイブリッド)

### 秋のオープンキャンパス ~学園祭コラボ~

**10.11** [日] 10:00-16:00  
筑波技術大学天久保キャンパス ※学園祭を実施しない場合は説明会単体での実施

### 出張オープンキャンパス 13:30-16:00

**5.31** [日] 北海道 大阪 福岡

**9.13** [日] 大阪 他

※掲載内容は2026年3月31日時点の情報です。予定が変更した場合は、本学ホームページ、Facebook、X(旧Twitter)等でお知らせします。

ミニ説明会(学校訪問)・大学見学・個別相談・オンライン相談 [随時]

聴覚に障害のある生徒、保護者及び関係職員等を対象にオープンキャンパス等を上記のとおり開催します。出張オープンキャンパス等では、希望学科の教育内容の説明、個人別の教育相談・受験相談などを行います。その他、希望に応じて随時、受験相談・施設見学等を行っていますので、お申し出ください。



各種説明会イベントでは、高校生だけでなく、小学生や中学生のみなさまのご参加も歓迎しております。

## ACCESS MAP



筑波大学

# 筑波技術大学 産業技術学部 共生社会創成学部 [聴覚障害コース] 【天久保キャンパス】

配置図



1. 管理棟
2. 校舎棟
3. 特殊実験棟
4. メディアセンター  
(障害者高等教育研究支援センター・図書館)
5. 学生会館 (講堂)
6. 学生寄宿舎共用棟
7. 学生寄宿舎居住棟
8. 体育館
9. テニスコート
10. 多目的グラウンド
11. 学生支援棟 (紫峰会館)
12. 総合研究棟



- |          |  |
|----------|--|
| つくば駅     | ●「テクノパーク大穂」バス乗車 [約 15 分]、<br>「筑波技術大学産業技術学部」下車徒歩 1 分                          |
| つくばセンター  | ●「筑波大学循環 (左回り)」バス乗車 [約 15 分]、<br>「合宿所」下車徒歩 5 分                               |
| [約 25 分] | ●つくバス「北部シャトル 3 番乗り場【筑波山口方面】」<br>バス乗車 [約 5 分]、「H03 天久保 (筑波実験植物園)」<br>下車徒歩 1 分 |
| [約 30 分] | ●タクシーで約 7 分  |
| [約 30 分] |  |

筑波技術大学 (天久保キャンパス)



至上野

荒川沖駅

土浦駅

至水戸

学園西大通り

常磐道

桜土浦 IC

大角豆交差点

つくば JCT

妻木交差点

学園東交差点

バスターミナル

エキスポセンター  
中央公園

●日本国際学園大学

松見公園

筑波メディカル  
センター病院

筑波大学  
附属病院

ファミリー  
マート

セブン  
イレブン

筑波大学  
体育・芸術  
専門学群

筑波技術大学  
産業技術学部

ローソン

セブン  
イレブン

平塚通り

筑波大学

国立大学法人  
筑波技術大学 産業技術学部 学部案内

筑波技術大学

〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15

<https://www.tsukuba-tech.ac.jp>

---

[入学試験関係] 聴覚障害系支援課 教務係  
TEL 029-858-9328  
FAX 029-858-9335

---

[学生生活・就職関係] 聴覚障害系支援課 学生係  
TEL 029-858-9326  
FAX 029-858-9335

---

Publishing :  
Faculty of Industrial Technology  
Tsukuba University of Technology

4-3-15 Amakubo, Tsukuba-City, Ibaraki 305-8520, Japan

SNS も更新中！  
『筑波技術大学』で検索



Instagram



Facebook



X



ホームページ



国立大学法人  
筑波技術大学

筑波技術大学のコミュニケーションマークは、大学の成長と発展、ポジティブな拡散を感じられるデザインとなっています。それぞれのオブジェクトは、聴覚障害者にとっての視覚、視覚障害者にとっての聴覚を表現し、二つのオブジェクトの組み合わせで、障害に縛られないコミュニケーションを、また、人とその周囲の社会や環境を表現しました。